

地球電磁気・地球惑星圏学会 Society of Geomagnetism and Earth, Planetary and Space Sciences (SGEPSS)

2024年秋季年会プログラム

開催期間 2024年11月23日(土・祝)～11月27日(水)

開催場所 情報・システム研究機構 国立極地研究所・統計数理研究所(立川総合研究棟内)
(〒190-8518 東京都立川市緑町10-3)

第156回総会・特別講演・田中館賞受賞講演

日時 2024年11月26日(火) 13:20～18:30

場所 2階大会議室

第156回講演会

日時 2024年11月24日(日)～11月27日(水)

場所 2階大会議室 B201 (A会場)

統数研3階セミナー室2 D304 (B会場)

統数研2階会議室1 D222 (C会場)

極地研3階セミナー室 C301 (D会場)

1階交流アトリウム (ポスター会場A)

統数研3階セミナー室1 D305 (ポスター会場B)

共催 国立極地研究所、統計数理研究所

一般公開イベント

日時 2024年11月23日(土・祝) 13:00～17:00

場所 国立極地研究所(〒190-8518 東京都立川市緑町10-3)

共催 国立極地研究所

後援 立川市教育委員会

		9:00 - 10:15		10:30 - 12:00		13:15 - 15:15		15:30 - 18:15			
(標準的な時間割当)		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
23日(土・祝)	*	一般公開イベント (13:00-17:00)									
	A					R005: 大気圏・電離圏		R005: 大気圏・電離圏			
	B					R009: 惑星圏・小天体		R009: 惑星圏・小天体			
24日(日)	P	ポスター1 [S002, R006, R011]									
	A	R005: 大気圏・電離圏	S002: 2024年5月巨大宇宙嵐における太陽地球系変動			S002: 2024年5月巨大宇宙嵐における太陽地球系変動			R006: 磁気圏		
	B	R009: 惑星圏・小天体	S001: 気球観測の最前線-現在と将来の気球観測は何かできるのか-			S001: 気球観測の最前線-現在と将来の気球観測は何かできるのか-					
	C	R011: データシステム科学	R011: データシステム科学			R011: データシステム科学			R007: 太陽圏		
	D					R003: 地球・惑星内部電磁気学 (電気伝導度、地殻活動電磁気学)			R004: 地磁気・古地磁気・岩石磁気		
25日(月)	P	ポスター2 [R007, R008, R010]				ポスター3 [R005]					
	A	S002: 2024年5月巨大宇宙嵐における太陽地球系変動		S002: 2024年5月巨大宇宙嵐における太陽地球系変動		特別講演会 (13:20-14:05)	田中館賞講演 (14:10-15:45)		総会 (16:00-18:30)		
	C	R008: 宇宙プラズマ科学		R008: 宇宙プラズマ科学							
26日(火)	P	ポスター4 [S001, R003, R004, R009]									
	A	R006: 磁気圏		R006: 磁気圏		R006: 磁気圏					
	B	R010: 宇宙天気・宇宙気候～観測、シミュレーション、その融合～		R010: 宇宙天気・宇宙気候～観測、シミュレーション、その融合～		R010: 宇宙天気・宇宙気候～観測、シミュレーション、その融合～					
27日(水)	C	R008: 宇宙プラズマ科学		R008: 宇宙プラズマ科学							

講演会場・ポスター会場: 情報・システム研究機構 国立極地研究所・統計数理研究所(立川総合研究棟内)

口頭発表 - A会場: 総合研究棟 2F 大会議室(B201), B会場: 総合研究棟 3F 統数研セミナー室2(D304),

C会場: 総合研究棟 2F 統数研会議室1(D222), D会場: 総合研究棟 3F 極地研セミナー室(C301)

特別講演会・総会 - A会場: 総合研究棟 2F 大会議室(B201)

ポスター発表 - P会場: [ポスター会場A] 総合研究棟 1F 交流アトリウム, [ポスター会場B] 総合研究棟 3F 統数研セミナー室1(D305)

一般公開イベント会場: 国立極地研究所

(Standard timing)	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
23 (Sat)	*						Public Outreach Event (13:00-17:00)				
24 (Sun)	A				R005 : Atmosphere/ Ionosphere		R005 : Atmosphere/Ionosphere				
	B				R009 : Planets and Small Bodies		R009 : Planets and Small Bodies				
	P				Poster 1 [S002, R006, R011]						
25 (Mon)	A	R005 : Atmosphere/ Ionosphere	S002 : Solar-Terrestrial Variations during the May 2024 Severe Space Storm		S002 : Solar-Terrestrial Variations during the May 2024 Severe Space Storm		R006 : Magnetosphere				
	B	R009 : Planets and Small Bodies	S001 : The frontiers of balloon-borne observation		S001 : The frontiers of balloon-borne observation						
	C	R011 : Data System Science	R011 : Data System Science		R011 : Data System Science		R007 : Heliosphere				
	D				R003 : Solid Earth Electromagnetism		R004 : Geomagnetism/ Paleomagnetism/Rock Magnetism				
	P	Poster 2 [R007, R008, R010]			Poster 3 [R005]						
26 (Tue)	A	S002 : Solar-Terrestrial Variations during the May 2024 Severe Space Storm	S002 : Solar-Terrestrial Variations during the May 2024 Severe Space Storm		Special lecture (13:20-14:05)	Tanakadate Prize Lectures (14:10-15:45)		Plenary meeting (16:00-18:30)			
	C	R008 : Space Plasma Science	R008 : Space Plasma Science								
	P	Poster 4 [S001, R003, R004, R009]									
27 (Wed)	A	R006 : Magnetosphere	R006 : Magnetosphere		R006 : Magnetosphere						
	B	R010 : Space Weather/ Space Climate	R010 : Space Weather/ Space Climate		R010 : Space Weather/ Space Climate						
	C	R008 : Space Plasma Science	R008 : Space Plasma Science								

Venue : Research Organization of Information and Systems, National Institute of Polar Research (NIPR)/Institute of Statistical Mathematics (ISM) (in the General Research Facility (Main Building))

Oral presentations — A : General Research Facility 2F Auditorium (B201),

B : General Research Facility 3F ISM seminar room 2 (D304),

C : General Research Facility 2F ISM meeting room 1 (D222),

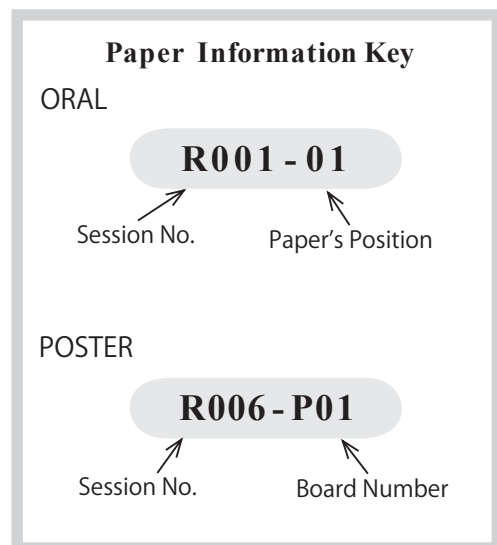
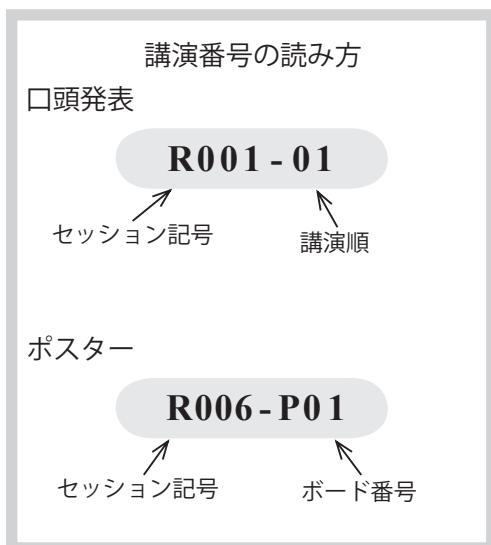
D : General Research Facility 3F NIPR seminar room (C301)

Special lectures, Plenary meeting — A : General Research Facility 2F Auditorium (B201)

Poster presentations — P : [Poster venue A] General Research Facility 1F Exchange Atrium,

[Poster venue B] General Research Facility 3F ISM seminar room 1 (D305)

Public outreach event : NIPR



学会長挨拶

塩川 和夫(第32期会長)

地球電磁気・地球惑星圏学会2024年秋季年会(第156回総会・講演会・一般公開イベント)の開催にあたり、ご挨拶をさせていただきます。今回の秋学会では、国立極地研究所の皆様には、LOCとして開催のために様々な労を取って頂き、深く感謝いたします。今回の講演会では、地球観測の最前線と2024年5月巨大宇宙嵐に関する2つの特別セッションを含め、内部電磁気、古地磁気、大気圏電離圏、磁気圏、太陽圏、プラズマ、惑星・小天体、宇宙天気、データシステム科学という11種類のセッションで構成されています。地球内部から太陽圏まで、さらに異なる領域をつなぐデータ科学も含めて、活発な議論が展開されることが期待されます。秋学会は学会員が研究について専門的な議論を行える貴重な機会です。本学会を通して、皆さまの研究が大きく発展していくことを期待しております。

Greetings from the President

Kazuo Shiokawa (32th President)

It is my pleasure to address the 2024 Fall Meeting of the Society of Geomagnetism and Earth, Planetary and Space Sciences (SGEPSS). I would like to thank the local organizing committee of the National Institute of Polar Research for various efforts they have made to host this meeting. This year the meeting is composed of nine regular sessions: solid Earth electromagnetism, geomagnetism/paleomagnetism/rock-magnetism, atmosphere/ionosphere, magnetosphere, heliosphere, space plasma, planets and small bodies, space weather, and data system science, as well as two special sessions on balloon-borne observation and the May 2024 Severe Space Storm. Lively discussions are expected on topics ranging from the Earth's interior to the heliosphere, as well as the data science that connects these different regions. The SGEPSS fall meeting is a valuable opportunity for conference members to engage in professional discussions about their research. We hope that your research will make great progress through this meeting.

大会委員長挨拶

中村 卓司、野木 義史(第156回総会・講演会 大会委員長)

SGEPSS 2024年秋季年会のLOCを代表いたしまして、大会委員長から一言ご挨拶申し上げます。今回の秋学会は、国立極地研究所・統計数理研究所がLOCとなり、両研究所があります立川市の立川学術プラザで開催致します。国立極地研究所がLOCをお引き受けするのは、20世紀最後の年、2000年以来で24年ぶりになります。その間、一度立川への招致を行ったのですが残念ながら他の候補地の方に決まりましたので、久しぶりの極地研での開催となりました。今世紀に入ってから極地研・統数研には大きな変化がありました。一つ目は、国立大学法人法によって全国の国立大学と大学共同利用機関が国立大学法人および大学共同利用機関法人となったことによる「法人化」です。2004年に国立極地研究所および統計数理研究所は、国立遺伝学研究所、国立情報学研究所とともに新設された大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構のメンバーとなりました。もう一つは、2009年のキャンパスの移転で、極地研は板橋キャンパスから、統数研は広尾キャンパスから新築された立川地区総合研究棟に移転してまいりました。同じ立川地区には人間文化研究機構の大学共同利用機関である国文学研究資料館と国立国語研究所もあり、立川市は全国でも最も大学共同利用機関の多い「学術都市」となっています。SGEPSSの皆様は立川へのご来訪を厚く歓迎したいと思いますので、この機会にぜひ立川キャンパスや立川市・多摩地区をお楽しみいただきたいと思います。多数のご来場をお待ちしております。

なお、今年の懇親会は、毎年南極観測隊が積荷の準備を行なっている「極地観測棟1F倉庫」にて行います。普段は入ることのできない場所での開催ですので、奮ってご参加ください。また、会場のある総合研究棟の南には「南極・北極科学館」が設置されており、無料で展示を行なっております。秋学会期間中は26～27日の午前10時から午後17時までの開館ですので、この機会にあわせてご覧いただければと思います。

運営委員会よりお知らせ

- 参加登録
 - 現地およびオンライン参加にあたって、双方ともにオンラインでの参加登録が必要です。LOCサイトより、参加登録システムに個人IDにてログインし、登録・決済を行って頂くようお願いします。
 - 参加登録は、現地・オンライン共通です。
 - 決済はクレジットカードのみです。また、クレジットカード本人認証サービスの有効化が必要です。
 - 現地参加される場合は、参加登録後に発行される領収書を受付にてご提示いただいた後、名札をお渡ししますので、準備をお願いします。
- 総会は11月26日(火)16:00～18:30に、A会場(2階大会議室)及びZoom meetingで開催されますのでご出席願います。やむを得ず欠席される方は委任状をご提出下さい。委任状の提出は電子的にお願いいたします。提出の方法は、学会メーリングリストにてご案内します。
- 特別講演・田中館賞受賞講演は総会に先立って同日13:20よりA会場(2階大会議室)及びZoom meetingで開催されますので、ご参加ください。
- 予稿集は学会HP(<https://www.sgepss.org/meeting/fallmeeting.html>)よりオンラインでご利用いただけるほか、ダウンロードしてお手元に保存することが可能です。
- 口頭発表
 - 現地会場、Zoom meetingどちらからでも参加可能なハイブリッド形式で開催します。詳細については、別途連絡している参加マニュアルを確認してください。
 - 口頭発表は録画されます。この内容は、秋季年会HPにて期間限定でSGEPSS会員及び秋学会の参加登録者が視聴可能となります。
- ポスター発表
 - ポスターセッションは2会場にて開催されます。現地開催のみです。4回に分けて実施され、各日の発表セッション名は下表のとおりです。

ポスターセッションP1	ポスターセッションP2	ポスターセッションP3	ポスターセッションP4
11月24日(日)午後 コアタイム：13:15-17:30	11月25日(月)午前 コアタイム：9:00-12:00	11月25日(月)午後 コアタイム：13:15-17:30	11月26日(火)午前 コアタイム：9:00-12:00
S002：巨大宇宙嵐 R006：磁気圏 R011：データシステム科学	R007：太陽圏 R008：宇宙プラズマ科学 R010：宇宙天気・宇宙気候	R005：大気圏・電離圏	S001：気球観測の最前線 R003：地球・惑星内部電磁気学 R004：地磁気・古地磁気・岩石磁気 R009：惑星圏・小天体

- ポスターは11月24日～26日の3日間掲載、閲覧可能です。初日は12:30から、2日目以降は8:45から掲示可能です。ポスターの撤収は3日目の13:00までをお願いします。
- ポスターは、一人あたり、高さ1.8m×幅0.73m(B1縦型)の領域内に収まるよう、ご準備ください。
- 緊急のポスター発表を希望される場合は、プログラム担当(fm@sgepss.org)までご相談ください。
- 学生会員が第一著者かつ発表者である全発表(口頭及びポスター発表)の中で、将来性、独創性のある研究に対して学生発表賞が授与されます。ポスター発表中には、審査員が時間割(別途、配布)に従って見て回り、審査します。ポスター発表者は、審査の時間中は審査員を優先して説明してください。
- 委員会等他の会合については、秋季年会HP並びに会場内にてご案内いたします。
- 会場総合受付付近に会費支払い窓口を設けますので、未納分あります方はご利用ください。

開設日時：11月25日(月) 13:00～17:45

11月26日(火) 9:00～16:30(総会開始前まで)

大会案内

- 秋季年会 URL <https://www.sgepss.org/meeting/fallmeeting.html>

第156回総会・講演会

- 講演会・ポスター会場 情報・システム研究機構 国立極地研究所・統計数理研究所
(立川総合研究棟内)
〒190-8518 東京都立川市緑町10-3

受付・ポスター会場A	総合研究棟	1F	交流アトリウム
A会場	総合研究棟	2F	大会議室(B201)
B会場	総合研究棟	3F	統数研セミナー室2(D304)
C会場	総合研究棟	2F	統数研会議室1(D222)
D会場	総合研究棟	3F	極地研セミナー室(C301)
ポスター会場B	総合研究棟	3F	統数研セミナー室1(D305)
<hr/>			
LOC控室	総合研究棟	2F	極地研中会議室(C201)
小会合会場	総合研究棟	5F	極地研小会議室(C501)

- 特別講演・総会会場 11月26日(火) 13時20分～18時30分

A会場	総合研究棟	2F	大会議室(B201)
-----	-------	----	------------

- 懇親会会場 11月26日(火) 18時45分～

極地観測棟	1F	倉庫
-------	----	----

参加費(予定)：一般5000円、学生2000円

一般公開イベント

- 一般公開イベント会場 「地球・宇宙のミステリーを語りつくせ！科学探偵になろう！」
国立極地研究所(〒190-8518 東京都立川市緑町10-3)
11月23日(土・祝) 13:00～17:00

- 保育室 事前に申し込み頂いた利用者の方々のみへ、直接ご連絡致します。
申込み等につきましてはLOCのウェブページに情報を掲載しています。
<https://www.sgepss.org/meeting/fallmeeting.html>
ご不明な点は、男女共同参画担当の運営委員(中溝・大矢)にご連絡ください。

第156回総会・講演会 会場へのアクセス

～ 情報・システム研究機構 国立極地研究所・統計数理研究所(立川総合研究棟内) ～

● JR 立川駅から：

立川バス：立川駅北口2番乗り場から下記のバスに乗車、立川学術プラザ下車、徒歩1分。

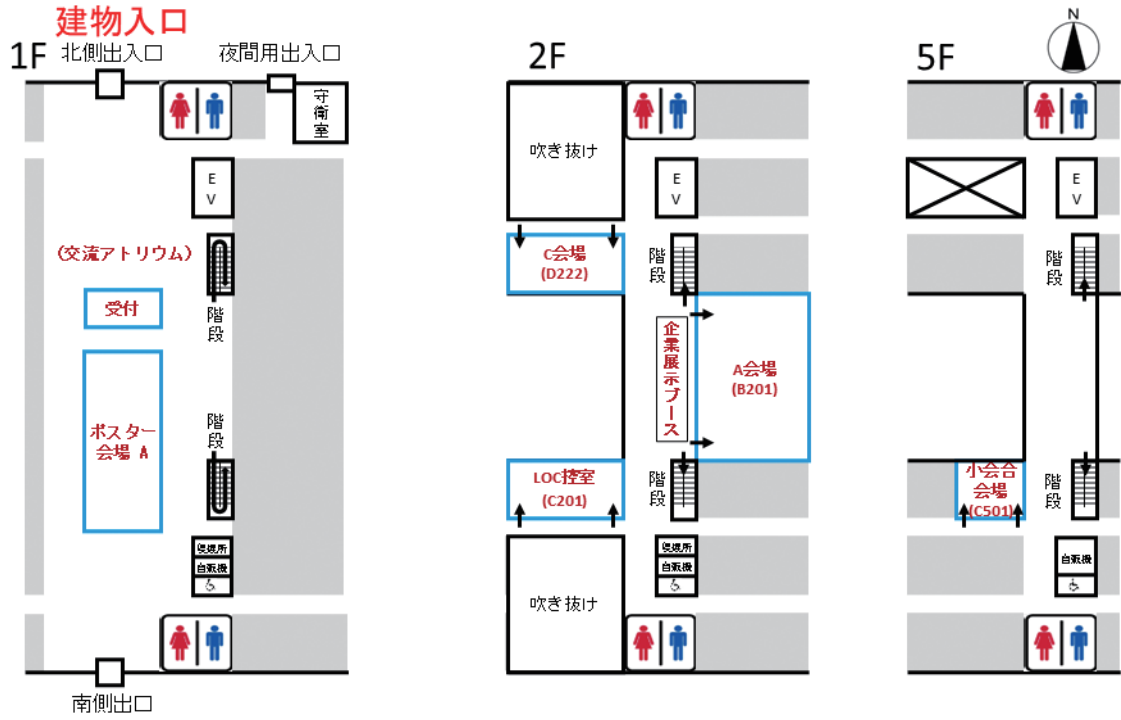
- ・立16-2 東中神駅北口(市役所経由)
- ・立16-3 大山団地折返場(市役所経由)
- ・立19-2 もくせいの杜循環(市役所・大山団地経由)
- ・立19-4 もくせいの杜循環(市役所・大山団地経由)

立川駅北口1番乗り場から、立川市役所下車、徒歩5分

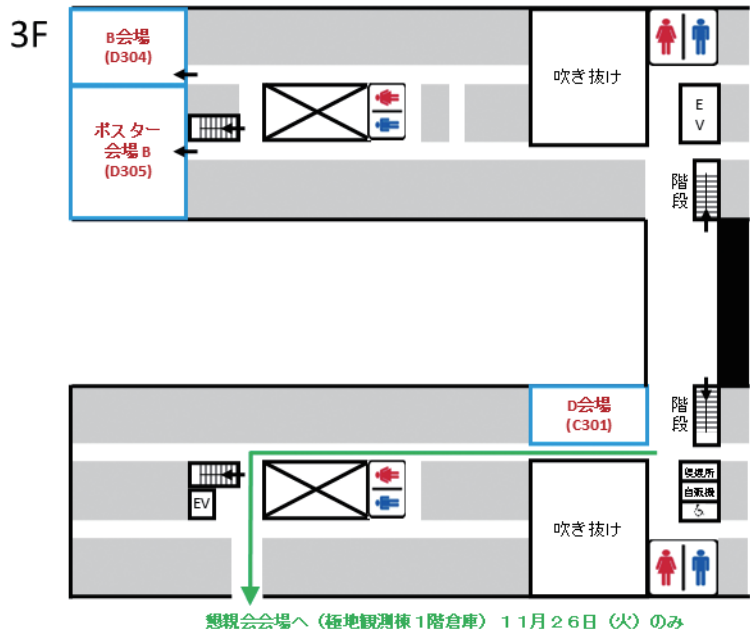
多摩モノレール：立川北駅 → 1駅目の高松駅下車、徒歩10分。



- (左図) 受付・ポスター会場 A 総合研究棟 1F
- (中央図) 会場 A・C、ブース展示、LOC控室 総合研究棟 2F
- (右図) 小会合会場 総合研究棟 5F C501 (会場Dの2フロア上の部屋になります)



- 会場 B・D、ポスター会場 B 総合研究棟 3F



● 無線LAN

eduroamをご利用頂けます。所属大学・機関でeduroamのアカウントを事前取得してください。アカウントを取得出来ない参加者向けに、ゲストアカウントを受付で配布いたします。会場の無線LANの帯域は限られていることから、eduroamのご利用は必要最小限としていただきますようお願いいたします。

● 企業展示ブース

2階大会議室(A会場)前に展示ブースを設けます。

● 会期中の食事情報

- 平日(11/25～27)は、1階交流アトリウムに5店の仕出し弁当屋が出店します。また、道路を挟んで正面の立川市役所1階に喫茶店(平日のみ)がございます(場所は6頁の交通案内の項に掲載したアクセス・マップをご参照ください)。いずれも11/23～24はご利用になれませんのでご注意ください。
- 立川市役所1階にはコンビニがございます。11/23～24も営業しています。
- A会場(総合研究棟 2F 大会議室(B201))は飲食禁止ですので、食事の際には他のスペースをご利用ください。

● 会期中の宿泊情報

- 立川駅の周辺に宿泊施設が多数ございます。

● 組織委員会：国立極地研究所・統計数理研究所

大会委員長	中村 卓司・野木 義史	運営委連絡、総会、渉外、全体支援
実行委員長	堤 雅基	アルバイト、ブース、全体支援
総務	富川 喜弘	総務、アルバイト、ブース、全体支援
会計	西山 尚典	助成、懇親会会計
会場	小川 泰信・中野 慎也	会場の予約・運用、ブース、ポスター
IT	岡田 雅樹・菊池 雅行	ネットワーク・ハイブリッド対応
受付	田中 良昌	受付
懇親会	江尻 省	懇親会、弁当手配
託児所	橋本 大志	託児所の準備・運営
Web	片岡 龍峰	Web・PDFパンフ
広報	片岡 龍峰・吹澤 瑞貴	広報、一般公開イベント
当日運営	菅沼 悠介・藤井 昌和	

一般公開イベント

「地球・宇宙のミステリーを語りつくせ！ 科学探偵になろう！」

(地球電磁気・地球惑星圏学会 2024年一般公開イベント)

● 会 場 国立極地研究所

● 日 時 11月23日(土・祝) 13:00～17:00

● 企画内容

※参加費無料

☆はかせのトークショー

VTuber(星見まどかさん)とのコラボ企画です。YouTube ライブ配信も予定。

☆はかせと実験

最先端で活躍するはかせの解説を聞きながら学べる実験です。

実験A「ラジオ工作」

実験B「地球儀工作」

☆教えて★はかせ(展示・質問コーナー)

最先端で活躍するはかせが、趣向を凝らした体験型の展示を用意しています。

○オーロラはかせ ○地磁気はかせ

○地球はかせ ○デジタル地球儀はかせ(ダジック・アース)

● 関係団体等

主催：地球電磁気・地球惑星圏学会、国立極地研究所

後援：立川市教育委員会

● 連絡先 地球電磁気・地球惑星圏学会2024一般公開イベント担当

● E-mail event@sgepss.org

● URL https://sgepss.org/ornew/events/sgepss_event2024

プレスリリース

● 2024 秋季期年会中の講演会発表のうち、優秀かつ社会に対するインパクトが強い研究について、講演会の1週間程度前にマスコミ関係者へプレスリリースを行い、学会ホームページ(<https://www.sgepss.org/>)でも公開する予定です。会員の皆様もぜひご覧ください。

● 連絡先 北元(press2024@sgepss.org)

(SGEPSSアウトリーチ部会)

第 1 日 目

11月24日(日)

開始時間	A 会 場	B 会 場
	<p>R005 大気圏・電離圏 Atmosphere/Ionosphere コンビーナ： 西岡 未知 (情報通信研究機構) 埜 千尋 (情報通信研究機構) 高橋 透 (電子航法研究所) 富川 喜弘 (国立極地研究所) 座長： 石井 智士 (立教大) 津田 卓雄 (電通大)</p>	<p>R009 惑星圏・小天体 Planets and Small Bodies コンビーナ： 原田 裕己 (京都大学) 今村 剛 (東京大学) 関 華奈子 (東京大学) 西野 真木 (JAXA 宇宙科学研究所) 土屋 史紀 (東北大学) 座長： 堺 正太郎 (東北大・理・地球物理) 土屋 史紀 (東北大・理・惑星プラズマ大気)</p>
13 : 15	<p>R005-01 Laser method of precisely observing the transition region: Resonance-scattering Ca/Ca+ lidar * Masayuki Katsuragawa, Ayaka Hashimoto, Sota Kobayashi, Sayako Miyoshi, Chiaki Ohae, Mitsumu Ejiri, Takuji Nakamura</p>	<p>R009-01 Updated Status of BepiColombo and Overview of Mercury Flyby Observations * Go Murakami, Geraint Jones, Johannes Benkhoff</p>
13 : 30	<p>R005-02 Investigation on K variations during wintertime observed at Syowa Station, Antarctic * JINYI HU, Takuo Tsuda, Mitsumu K Ejiri, Takanori Nishiyama, Takuji Nakamura, Katsuhiko Tsuno, Makoto Abo, Takuya Kawahara, Takayo Ogawa, Satoshi Wada</p>	<p>R009-02 Whistler-driven electron precipitation by asymmetric loss cone in Mercury's miniature magnetosphere * Mitsunori Ozaki, Takeru Kondo, Yuto Yamada, Satoshi Yagitani, Mitsuru Hikishima, Yoshiharu Omura</p>
13 : 45	<p>R005-03 Variations in Na D₁ and D₂ ratio based on nightglow observations at Tromsø * Kihiro Sakamoto, Takuo Tsuda, Takanori Nishiyama, Sota Nanjo, Keisuke Hosokawa, Satonori Nozawa, Tetsuya Kawabata, Akira Mizuno</p>	<p>R009-03 Analysis of the lunar surface potential distribution based on a model and Kaguya observations * Masahisa Kato, Yuki Harada, Masaki N Nishino, Yoshifumi Saito, Shoichiro Yokota, Futoshi Takahashi, Hisayoshi Shimizu, Shaosui Xu, Andrew R Poppe, Jasper Halekas</p>
14 : 00	<p>R005-04 Gravity waves observed by OH airglow imaging at Rio Gallegos, Argentina, near Andes * Takuji Nakamura, Mitsumu K Ejiri, Masaru Kogure, SEPTI PERWITASARI, Yoshihiro Tomikawa, Masaki Tsutsumi, Akira Mizuno, Katsuhiko Tsuno, Takayo Ogawa, Satoshi Wada, Jacobo Salvador</p>	<p>R009-04 Solar wind interaction with multiple lunar magnetic anomalies: Kaguya low-altitude observations * Kohei Ogino, Yuki Harada, Masaki N Nishino, Yoshifumi Saito, Shoichiro Yokota, Yoshiya Kasahara, Atsushi Kumamoto, Futoshi Takahashi, Hisayoshi Shimizu</p>
14 : 15	<p>R005-05 EISCAT_3D and Japan's Activities * Yasunobu Ogawa, Hiroshi Miyaoka, Satonori Nozawa, Taishi Hashimoto, Shin ichiro Oyama, Koji Nishimura, Takuo Tsuda, Hitoshi FUJIWARA, Masaki Tsutsumi, Yoshimasa Tanaka, Takanori Nishiyama, Mizuki Fukizawa, Keisuke Hosokawa, Yoshizumi Miyoshi, Takuji Nakamura, Ryoichi Fujii</p>	<p>R009-05 Improvement of sensitivity and mass resolution by graphene in ion mass spectroscopy * Soichiro Seki, Satoshi Kasahara, Ryo Tao, Oya Kawashima, Yumika Sue, Seiji Sugita</p>

第 1 日 目

11月24日(日)

開始時間	A 会 場	B 会 場
14 : 30	R005-06 Thermosphere structure function * Huixin Liu, Facundo Poblet, Jorge Chau	R009-06 HF of RPWI aboard JUICE: Lunar-Earth flyby in Aug 2024 and beyond * Yasumasa Kasaba, Cecconi Baptiste, Fuminori Tsuchiya, Hiroaki Misawa, Hajime Kita, Rikuto Yasuda, Yuto Katoh, Atsushi Kumamoto, Tomoki Kimura, Yoshizumi Miyoshi, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda, Satoshi Yagitani, Mitsunori Ozaki, Hirotsugu Kojima, Satoshi Kurita, Wahlund J.-E.
14 : 45	R005-07 Next-generation atmospheric observation system by micro-/nano-satellites * Yukihiro Takahashi, Mitsuteru SATO, HARUKI SUGIYAMA, Tatsuharu Ono, HISAYUKI KUBOTA	R009-07 Estimations of the atmospheric transport velocity of Uranus using telescope observations. * Kotaro Amada, Seiko Takagi, Yukihiro Takahashi, Mitsuteru SATO, KO HAMAMOTO
15 : 00	総合討論 (15:15 - 15:30 休憩)	R009-08 Current status of LAPYUTA mission * Fuminori Tsuchiya, Go Murakami, Atsushi Yamazaki, Shingo Kameda, Masato Kagitani, Kazuo Yoshioka, Koga Ryoichi, Jun Kimura, Tomoki Kimura, Chihiro Tao, Kei Masunaga, Shotaro Sakai, Akifumi Nakayama, Masahiro Ikoma, Norio Narita, Masami Ouchi, Masaomi Tanaka, Masaki Kuwabara, Shin Toriumi, Yuta Notsu, Kosuke Namekata (15:15 - 15:30 休憩)
	座長： 安藤 慧 (NICT) 惣宇利 卓弥 (京大 RISH) 西山 尚典 (極地研)	座長： 中村 勇貴 (東大) 益永 圭 (山形大) 原田 裕己 (京都大)
15 : 30	R005-08 Development of suprathermal ion source to calibrate space-based plasma instrument * Takumi Abe, Chiaki Kato, Hirotsugu Kojima	R009-09 Kelvin-Helmholtz instability at Mars: Properties of plasma boundaries with a large density gradient * Kanako Seki, Takuya Hara, Ryoya Sakata, Yosuke Matsumoto, David A. Brain, Naoki Terada, James P. McFadden, Jasper S. Halekas, Gina A. DiBraccio, Shannon Curry
15 : 45	R005-09 Examination of the method to derive the electric current in the sporadic E layer * Ryuichi Okuda, Ayako Matsuoka, Atsushi Kumamoto, Takumi Abe, Akinori Saito	R009-10 C ⁺ 133.5 nm emission mechanisms on Mars revealed by MAVEN observations * Shotaro Sakai, Hiromu Nakagawa, Justin Deighan, Sonal K. Jain, Kei Masunaga, Fuminori Tsuchiya, Naoki Terada, Majd Mayyasi, Nicholas M. Schneider, David L. Mitchell, Christian Mazelle, Mehdi Benna, Robert J. Lillis, Go Murakami, Shannon M. Curry, Kanako Seki
16 : 00	R005-10 Dynamical characteristics of summer nighttime Es layer: FMCW-based HF Doppler sounding measurements * Ryunosuke Saito, Keisuke Hosokawa, Noriko Namiki, Kenro Nozaki, Hiroyuki Nakata, Jun Sakai, Ichiro Tomizawa	R009-11 Effects of magnetic field structure on the Martian diffuse aurora * Taishin Okiyama, Kanako Seki, Yuki Nakamura, Robert J. Lillis, Ali Rahmati, Davin E. Larson, Gina A. DiBraccio, Nicholas M. Schneider, Sonal K. Jain, Shannon Curry

第 1 日 目

11月24日(日)

開始時間	A 会 場	B 会 場
16 : 15	R005-11 Sporadic Ca ⁺ layer observed at 100-170 km over Syowa during geomagnetic quiet condition * Mitsumu K. Ejiri, Takanori Nishiyama, Takuo T. Tsuda, Katsuhiko Tsuno, Yuki Kojo, Akinori Saito, Michi Nishioka, Makoto Abo, Takuya D. Kawahara, Takayo Ogawa, Satoshi Wada, Takuji Nakamura	R009-12 Global dependences of the Martian nightside ionosphere on the solar wind conditions * Naoyuki Takeuchi, Yuki Harada, Beatriz Sánchez-Cano
16 : 30	R005-12 Features of disturbances in the dayside polar ionosphere during geomagnetically quiet periods * Hitoshi FUJIWARA, Satonori NOZAWA, Yasunobu OGAWA	R009-13 Statistical study of ion escape from Mars during ICME and CIR events based on observations * R. Kamei, K. Seki, K. Keika, R. Ramstad, D. A. Brian, T. Hara, J. P. McFadden, K. G. Hanley, C. Fowler, J. S. Halekas, G. A. DiBraccio, S. M. Curry
16 : 45	R005-13 Upper thermospheric orthohelium variations associated with a moderate storm on February 2023 * Takanori Nishiyama, Masato Kagitani, Tikemani Bag, Takuo Tsuda, Yuki Iwasa, Yasunobu Ogawa, Fred Sigernes	(15:45 – 17:00 休憩)
17 : 00	R005-14 MAGE model analysis of electric field penetration with a strong substorm on October 24, 2003 * Saki Morita, Kazuo Shiokawa, Kevin Pham, Yuichi Otsuka, Atsuki Shinbori, Michi Nishioka, Septi Perwitasari, Mamoru Yamamoto, Takuya Sori	R009-14 Role of the regolith-atmosphere interaction on the water cycle simulated with a Mars GCM * Mirai Kobayashi, Takeshi Kuroda, François Forget, Arihiro Kamada, Shohei Aoki, Hiromu Nakagawa, Naoki Terada
17 : 15	R005-15 North–south asymmetry during decay phase of midlatitude plasma bubbles during a storm in March 2013 * Takuya Sori, Atsuki Shinbori, Chihiro Tao, Hidekatsu Jin, Yuichi Otsuka, Michi Nishioka, SEPTI PERWITASARI, Mamoru Yamamoto	R009-15 Effects of hot oxygen corona on the ion escape from Venus-like planets * Tomoaki Nishioka, Kanako Seki, Ryoya Sakata, Shotaro Sakai, Naoki Terada, Hiroyuki Shinagawa, Akifumi Nakayama
17 : 30	R005-16 Statistical study of mid-latitude plasma bubbles based on GNSS and ionosonde observation * Sota Kato, Yuichi Otsuka, Satonori Nozawa, Atsuki Shinbori, Takuya Sori, Michi Nishioka, SEPTI PERWITASARI	R009-16 Influence of the solar wind on the hydrogen airglow in the Venusian upper atmosphere by Hisaki * Chizuru Nose, Kei Masunaga, Fuminori Tsuchiya, Yasumasa Kasaba, Shotaro Sakai, Ichiro Yoshikawa, Atsushi Yamazaki, Go Murakami, Tomoki Kimura, Hajime Kita, Jean-Yves Chaufray, François Leblanc
17 : 45	R005-17 Observations of Stratospheric Concentric GWs and Concentric TIDs * Masaru Kogure, Yue Jia, Chou Min-Yang, Liu Huixin, Otsuka Yuichi	R009-17 Development of Planetary Lightning Detector (PLD) and Venusian lightning Model * Tatsuharu Ono, Yukihiko Takahashi, Mitsuteru SATO, Seiko Takagi, Masataka Imai
18 : 00	総合討論 (18:15 終了)	R009-18 Growth and decline of enormous cloud cover in Venus' night-side * Takehiko Satoh, Takao M Sato, Takeshi Imamura, Takeshi Kuroda (18:15 終了)

第 2 日 目

11月25日(月)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会 場
	<p>R005 大気圏・電離圏 Atmosphere/Ionosphere コンビナー： 西岡 未知 (情報通信研究機構) 埜 千尋 (情報通信研究機構) 高橋 透 (電子航法研究所) 富川 喜弘 (国立極地研究所) 座長： 大矢 浩代 (千葉大・工・電気) 木暮 優 (九大・理・地惑)</p>	<p>R009 惑星圏・小天体 Planets and Small Bodies コンビナー： 原田 裕己 (京都大学) 今村 剛 (東京大学) 関 華奈子 (東京大学) 西野 真木 (JAXA 宇宙科学研究所) 土屋 史紀 (東北大学) 座長： 今井 正堯 (東大天文センター) 今村 剛 (東京大学)</p>	<p>R011 データシステム科学 Data System Science コンビナー： 能勢 正仁 (名古屋市立大学) 村山 泰啓 (情報通信研究機構) 篠原 育 (宇宙科学研究所) 田中 良昌 (国立極地研究所) 堀 智昭 (名古屋大学) 今城 峻 (京都大学) 藤本 晶子 (九州工業大学) 西村 耕司 (京都大学生存圏研究所) 座長： 能勢 正仁 (名市大・DS学部) 堀 智昭 (名大ISEE)</p>	
9 : 00	<p>R005-18 Seasonal Variation and Latitudinal Structure of the Quasi-6- Day Wave on the IHFACs * Kumi Takayama, Akimasa Yoshikawa, Yasunobu Miyoshi</p>	<p>R009-19 Non-hydrostatic global simulations of the Venus atmosphere: effects of vertical convection * Hiroki Kashimura, Hisashi Yashiro, Seiya Nishizawa, Hirofumi Tomita, Masahiro Takagi, Norihiko Sugimoto, Kazunori Ogohara, Takeshi Kuroda, Kensuke Nakajima, Masaki Ishiwatari, Yoshiyuki O. Takahashi, Yoshi-Yuki Hayashi</p>	<p>R011-01 In Situ Stray Magnetic Field Removal with the Removal Algorithm for Magnetometer Environmental Noise * Alex Hoffmann, Mark Moldwin</p>	
9 : 15	<p>R005-19 Global simulation of atmospheric waves and ionospheric variations generated by tsunamis * Hiroyuki Shinagawa, Yasunobu Miyoshi</p>	<p>R009-20 Distributions of SO2 and unidentified UV absorber retrieved using UV images taken by Akatsuki UVI * Tatsuro Iwanaka, Takeshi Imamura, Shohei Aoki, Emmanuel Marcq, Hideo Sagawa</p>	<p>R011-02 Metadata-Driven Web Content in DARTS * Satoshi NAKAHIRA, Kuriko INADA</p>	
9 : 30	<p>R005-20 A short period Pc3 pulsation possibly caused by a Lamb wave and plasmaspheric cavity resonance * Toshihiko Iyemori, Yoshihiro Yokoyama, Tadashi Aoyama</p>	<p>R009-21 Laboratory Experiments on SO2 Uptake in H2SO4 via Oxidation by NO2 under Venus-analogous Conditions * Soma Ubukata, Hiroki Karyu, Masao Gen, Hiromu Nakagawa, Shungo Koyama, Rikuto Minamikawa, Takeshi Kuroda, Naoki Terada</p>		

第 2 日 目

11月25日(月)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会 場
9 : 40			R011-03 Current status of World Data System * Yasuhiro Murayama	
9 : 45	R005-21 Analysis of Ionospheric Disturbances Caused by Typhoons Using Ground Magnetic Field Data * Miki Nishimura, Akimasa Yoshikawa, Teiji Uozumi	R009-22 Variations of tropopause height and gravity waves in the Venusian atmosphere * Miyu Sugiura, Takeshi Imamura, Hiroki Ando	R011-04 Challenges and Prospects of DOI Registration for Research Data * Tomoko Shirai	
9 : 55				
10 : 00	R005-22 D-region ionospheric response to the 2024 Noto earthquake using OCTAVE LF transmitter signals * Hiroyo Ohya, Fuminori Tsuchiya (10:15 - 10:30 休憩)	R009-23 Temporal Evolution of Mesoscale Structures seen in UV images of the Venusian Cloud Top * Tatsuro Matsui, Takeshi Imamura (10:15 - 10:30 休憩)	(10:10 - 10:30 休憩)	
	S002 2024年5月巨大宇宙嵐における太陽地球系変動 Solar-Terrestrial Variations during the May 2024 Severe Space Storm コンビーナ： 津川 卓也 (情報通信研究機構) 三好 由純 (名大 ISEE) 岩井 一正 (名大 ISEE) 西岡 未知 (情報通信研究機構) 桂華 邦裕 (東京大学) 塩田 大幸 (情報通信研究機構) 座長： 岩井 一正 (名古屋大学)	S001 気球観測の最前線 ー現在と将来の気球観測は何かできるのかー The frontiers of balloon-borne observation コンビーナ： 富川 喜弘 (国立極地研究所) 斎藤 芳隆 (JAXA 宇宙科学研究所) 村田 功 (東北大学) 座長： 斎藤 芳隆 (JAXA)		
			座長： 今城 峻 (京大・地磁気センター) 藤本 晶子 (九工大)	
10 : 30	セッション趣旨説明 (代表コンビーナー)	セッションの趣旨説明	R011-05 Trends in International Organizations related Observational Data * Mamoru Ishii	
10 : 35	S002-01 NICT Space Weather Forecast and Social Impact on Japan during the May 2024 Severe Space Storm * Takuya Tsugawa	S001-01 GRUAN: A reference upper-air sounding network for climate monitoring * Masatomo Fujiwara		
10 : 40				

第 2 日 目

11月25日(月)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会 場
<p>10 : 45</p> <p>10 : 50</p>	<p>S002-02 Flare trigger analysis for successive X-class flares in solar active regions 13663 and 13664 * Yumi Bamba, Kanya Kusano, Daikou Shiota</p>		<p>R011-06 Release of the cross-disciplinary research database AMIDER * Masayoshi Kozai, Yoshimasa Tanaka, Shuji Abe, Yasuyuki Minamiyama, Atsuki Shinbori, Akira Kadokura</p>	
<p>11 : 00</p> <p>11 : 05</p>	<p>S002-03 Observations of Solar Radio Bursts Associated with Solar Flares in May 2024 * Naoto Nishizuka, Yuki Kubo, Daikou Shiota</p>	<p>S001-02 Altitude Control Technique with Latex Balloons for Advanced Upper Air Observations * KENSAKU SHIMIZU, TAKUJI SUGIDACHI</p>	<p>R011-07 Metadata and DOI registrations of GAIA simulation data * Chihiro Tao, Hidekatsu Jin, Atsuki Shinbori, Masahito Nose, Yoshimasa Tanaka, Shuji Abe, Yasuhiro Murayama, Hiroyuki Shinagawa, Yasunobu Miyoshi, Hitoshi FUJIWARA</p>	
<p>11 : 15</p> <p>11 : 20</p>	<p>S002-04 XRISM/Xtend Observations of Solar Wind Charge Exchange X-ray Emission Associated with Space Storms * Daiki Ishi, team XRISM</p>	<p>S001-03 Sample return from UT/LS Using Balloon-borne UAV system * Masahiko Hayashi, Shin-Ichiro Higashino, Masataka Tsutsumi</p>	<p>R011-08 Development of BepiColombo/MMO data archive * Tomoaki Hori, Yoshizumi Miyoshi, ChaeWoo Jun, Atsuki Shinbori, Naritoshi Kitamura, Kazuhiro Yamamoto, Shota Chiba, Tomonori Segawa, Shoya Matsuda, Shinya Murakami, Sae Aizawa, Yuki Harada, Iku Shinohara, Go Murakami, Takuya Hara</p>	
<p>11 : 30</p>			<p>R011-09 Metadata conversion and registration in institutional repositories to improve data availability * Atsuki Shinbori, Masahito Nose, Yoshizumi Miyoshi, Tomoaki Hori, Tsukasa Oohira, Sachie Tanaka, Chizuko Naoe, Rui Gakiya, Maiko Okamoto, Takeshi Sagara, Yoshimasa Tanaka, Shuji Abe, Satoru UeNo, Shun Imajo, Takuya Ashikita, Yuko Hori, Toshiyuki Shimizu, Nanako Okamura, Kaoru Hirano</p>	

第 2 日 目

11月25日(月)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会 場
11 : 40	S002-05 XRISM/Xtend observation of the intense space storm in 2024 May	S001-04 High-altitude radiosonde observations using large rubber balloons	R011-10 Hello World! with EISCAT_3D	
11 : 45	* Shogo Kobayashi, Kotaro Fukushima, Daiki Ishi, Noriko Yamasaki, Kosuke Sato, XRISM team the	* Takenari Kinoshita, Shin-Ya Ogino, Junko Suzuki, Ryuichi Shirooka	* Taishi Hashimoto	
11 : 55	ディスカッション (12:00 - 13:15 昼休み)	(12:00 - 13:15 昼休み)	(12:00 - 13:15 昼休み)	
	座長： 桂華 邦裕 (東京大学)	座長： 村田 功 (東北大院・環境)	座長： 村山 泰啓 (NICT) 西村 耕司 (京都大・生存圏研究所) 阿部 修司 (九大 国際宇宙)	R003 地球・惑星内部電磁気学(電気伝導度、地殻活動電磁気学) Solid Earth Electromagnetism コンペーナ： 井上 智裕 (九州大学理学院附属地震火山観測研究センター) 南 拓人 (神戸大学大学院理学研究科) 座長： 井上 智裕 (九州大学) 鈴木 健士 (京都大学)
13 : 15	S002-06 Ring current development observed by the Arase satellite during the May 2024 super geomagnetic storm	S001-05 Continuous Human Resource Development Initiatives using Stratospheric Balloon Experiments.	R011-11 Towards the long-term utilization of large-scale foundation models for space weather research	R003-01 Time series analysis of EM-ACROSS observations at Inferno Crater Lake, New Zealand
13 : 30	* Naritoshi Kitamura, Kazuhiro Yamamoto, Shoichiro Yokota, Satoshi Kasahara, Ayako Matsuoka, Yusuke Ebihara, Kunihiro Keika, Atsuki Shinbori, Yoshizumi Miyoshi, Lynn Kistler, Kazushi Asamura, Tomoaki Hori, ChaeWoo Jun, Mariko Teramoto, Akimasa Ieda, Masafumi Hirahara, Masahito Nose, Kanako Seki, Iku Shinohara	* KEISUKE MAEDA, HIROAKI AKIYAMA	* Terumasa Tokunaga, Keiichi Nakanishi	* Norihiro Kitaoka, Yasuo Ogawa, Grant Caldwell, Keiichi Ishizu, Takuto Minami, Alison Kirkby
				R003-02 Continuous EM Field monitoring to Detect Changes in Subsurface Resistivity Structure * Ryokei Yoshimura, Kenichi Yamazaki, Shintaro Komatsu, Tomoya Yamazaki, Jun Nakagawa, Rintaro Miyamachi, Masahiro Yoshikawa, Naoto Ishikawa, Yoshihiro Hiramatsu, Maki Hata

第 2 日 目

11月25日(月)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会 場
<p>13 : 35</p> <p>13 : 45</p>	<p>S002-07 Arase satellite observations of the radiation belts for the May 2024 geospace storm * Yoshizumi Miyoshi, Iku Shinohara, Takeshi Takashima, Kazushi Asamura, Takefumi Mitani, Nana Higashio, Satoshi Kasahara, Shoichiro Yokota, Ryuho Kataoka, ChaeWoo Jun, Sandeep Kumar, Shreedevi Porunakatu Radhakrishna, Milla Kalliokoski, Satoshi Kurita, Yuto Katoh, Tomoaki Hori, Kunihiro Keika, Yoichi Kazama, Shiang-Yu Wang, Fuminori Tsuchiya, Atsushi Kumamoto, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda, Atsuki Shinbori, Naritoshi Kitamura, Ayako Matsuoka, Mariko Teramoto, Shun Imajo, Kazuhiro Yamamoto</p>	<p>S001-06 Recent Progress and Future Prospect of JAXA Scientific Balloon Program * Hideyuki Fuke</p>	<p>R011-12 Prospects for generating reanalysis data of the ionosphere based on an emulator of an MHD model * Shin'ya Nakano, Sachin Reddy, Ryuho Kataoka, Aoi Nakamizo, Shigeru Fujita</p>	<p>R003-03 Considerations on the anomalous phases associated with an inclined conductive column * Tomohiro Inoue, Takeshi Hashimoto</p>
<p>13 : 50</p> <p>13 : 55</p> <p>14 : 00</p>	<p>S002-08 Ionospheric convection associated with low-latitude auroras - SuperDARN HOP radars observations * Nozomu Nishitani, Tomoaki Hori, Keisuke Hosokawa, Atsuki Shinbori, Yuki Obana, Mariko Teramoto, Kazuo Shiokawa, Ryuho Kataoka</p>	<p>S001-07 Long-duration continuous observation of planets by the circumpolar stratospheric telescope FUJIN * Makoto Taguchi, Daisuke Kohno, Rintaro Eguchi, Yukihiko Takahashi, Mitsuteru SATO, Seiko Takagi, Tatsuharu Ono, Ko Hamamoto, Yasuhiro Shoji, Motoki Sarai, Toshihiko Nakano, Masataka Imai</p>	<p>R011-13 Discovery of new governing equations through the application of symbolic regression * Masahito Nose, Satoshi Oyama, Koga Ryoichi</p>	<p>R003-04 MT explorations of the three-dimensional electrical resistivity structure under the Nikko-Ashio area * Yoshiya Usui, Makoto Uyeshima, Shinya Sakanaka, Yusuke Yamaya, Yasuo Ogawa, Masahiro Ichiki, Yoshimori Honkura, Hidekuni Kuroki, around the Northern Kanto area Group for MT observation</p>
<p>14 : 05</p>	<p>S002-09 Anomalous Increase in Plasma Mass Density Observed during the 2024 Mother's Day Storm * Yuki Obana, Atsuki Shinbori, Fuminori Tsuchiya, Atsushi Kumamoto, Yoshiya Kasahara, Ayako Matsuoka, Yoshizumi Miyoshi, Iku Shinohara</p>	<p>S001-08 Systematic observations of greenhouse gases and related constituents in the stratosphere * Shinji Morimoto, Satoshi Sugawara, Shigeyuki Ishidoya, Sakae Toyoda, Daisuke Goto, Kazuki Kamezaki, Hideyuki Honda</p>	<p>R011-14 Anomaly detection of time series of the energetic proton from the Earth's radiation belt * Koga Ryoichi, Oyama Satoshi, Nose Masahito, Yoshioka Kazuo</p>	<p>R003-05 MT study in the southern part of Tohoku region * Dieno Diba, Han Song, Makoto Uyeshima, Yoshiya Usui, Masahiro Ichiki, Shin'ya Sakanaka, Makoto Tamura, Yiren Yuan, Marceau Gresse</p>
<p>14 : 15</p>				

第 2 日 目

11月25日(月)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会 場
14 : 20	S002-10 Electron density variation in the plasmasphere and ionosphere during the May 2024 storm * Atsuki Shinbori, Naritoshi Kitamura, Kazuhiro Yamamoto, Atsushi Kumamoto, Fuminori Tsuchiya, Shoya Matsuda, Yoshiya Kasahara, Mariko Teramoto, Ayako Matsuoka, Takuya Sori, Yuichi Otsuka, Michi Nishioka, SEPTI PERWITASARI, Yoshizumi Miyoshi, Iku Shinohara		R011-15 Citizen science of storm-time aurora in Japan * Ryuho Kataoka, Sachin Reddy, Shinya Nakano, Joshua Pettit, Yuki Nakamura	R003-06 An estimation of the dip angle of the Sarukawa fault at Oga peninsula * Shinya Sakanaka, Asaki Tanuma, Osamu Nishikawa, Keigo Tsuboe, Yuka Nishimura, Shion Tsunaga
14 : 30				
14 : 35	S002-11 Blue aurora observed from Japan during the May 2024 geomagnetic storm * Sota Nanjo, Kazuo Shiokawa	S001-09 Development status of super-pressure balloons for long-duration flight * Yoshitaka Saito	R011-16 Education of Observation and Data Processing with a Digital Image-Recording Soda Bottle Magnetometer * Shun Imajo	(14:45 – 15:00 休憩)
14 : 50	S002-12 Magnetic storm-time auroras as seen from Japan * Ryuho Kataoka	S001-10 Preliminary results of LODEWAVE Phase II * Yoshihiro Tomikawa, yoshitaka saito, Isao Murata, Kaoru Sato, Naohiko Hirasawa, Masashi Kohma, Kyoichi Nakashino, Daisuke Akita, Takuma Matsuo, Masatomo Fujiwara, Takana Kaho, Lihito Yoshida, RINA KAWAKAMI	R011-17 Data science education practices in higher education using solar-terrestrial science data * Akiko Fujimoto, Education Promotion Office MDASH	R004 地磁気・古地磁気・岩石磁気 Geomagnetism/ Paleomagnetism/ Rock Magnetism コンビーナ： 畠山 唯達 (岡山理科大学) 北原 優 (高知大学) 齊藤 武士 (信州大学) 座長： 北原 優 (高知大学 海洋コア国際研究所) 吉村 由多加 (国立極地研究所 先端研究推進系)
14 : 55				
15 : 00				R004-01 Using EKF-trained RNN to produce geomagnetic SV forecasts for the IGRF-14 * Sho Sato, Hiroaki Toh
15 : 05			総合討論	
15 : 10	ディスカッション	(15:10 終了)		
15 : 15	(15:15 – 15:30 休憩)		(15:15 – 15:30 休憩)	R004-02 A paleomagnetic record across the upper boundary of the Kaena reversed subchron * Akihiro Tanimoto, Makoto Okada

第 2 日 目

11月25日(月)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会 場
	<p>R006 磁気圏 Magnetosphere コンペーナ： 寺本 万里子 (九州工業大学大学院工学研究院) 北村 成寿 (名古屋大学宇宙地球環境研究所) 松田 昇也 (金沢大学大学院自然科学研究科) 山本 和弘 (名古屋大学宇宙地球環境研究所) 西山 尚典 (国立極地研究所) 座長： 栗田 怜 (京都大学 生存研) 山川 智嗣 (名古屋大学 ISEE) 松田 昇也 (金沢大学)</p>		<p>R007 太陽圏 Heliosphere コンペーナ： 成行 泰裕 (富山大学学術研究部教育学系) 岩井 一正 (名古屋大学宇宙地球環境研究所) 西野 真木 (JAXA 宇宙科学研究所) 坪内 健 (電気通信大学) 座長： 成行 泰裕 (富山大・教育学系) 岩井 一正 (名大 ISEE)</p>	
15 : 30	<p>R006-01 Interpretation of the Theta Aurora Based on the Null-Separator Structure * Takashi Tanaka</p>		<p>R007-01 Study of north-south anisotropy of galactic cosmic-rays using the muon detector network (2) * Masayoshi Kozai, Yuki Hayashi, Kazuoki Munakata, Chihiro Kato, Ryuho Kataoka, Shoko Miyake, Akira Kadokura</p>	<p>R004-03 Paleointensity study on basalt cores from the Agulhas Plateau drilled during IODP Expedition 392 * Chie Kato, Courtney J. Sprain, Edoardo Dallanave</p>
15 : 45	<p>R006-02 Fundamental physical processes of the solar wind-magnetosphere system in the northward IMF condition * Shigeru Fujita, Takashi Tanaka, Masakazu Watanabe, DongSheng Cai</p>		<p>R007-02 Cosmic-ray rigidity spectrum during extended Forbush decreases and its implication * Kazuoki Munakata, Yuki Hayashi, Chihiro Kato, Masayoshi Kozai, Ryuho Kataoka, Akira Kadokura, Shoko Miyake</p>	<p>R004-04 Archeointensity increase in Japan estimated from Middle and Late Yayoi potteries of 250 BCE to 50 CE * Yutaka Yoshimura, Hyeon-Seon Ahn, Chie Kato, Yuhji Yamamoto, Chisato Anai, Ryosuke Moriki, Yoshinori Tajiri, Tadahiro Hatakeyama, Kohei Masaoka, Masao Ohno</p>
16 : 00	<p>R006-03 Abrupt changes in Pc1 pulsations observed at the cusp: A event on 5 November 2023 * Satoshi Taguchi, Shun Imajo, Keisuke Hosokawa, Yuki Harada, Ayako Matsuoka, Haruto Koike, Hiroyuki Shinagawa</p>		<p>R007-03 The spatio-temporal evolution of the ICME, approached by the comparison of Forbush Decreases * Gaku Kinoshita, Kazuo Yoshioka, Go Murakami</p>	<p>R004-05 Rock magnetic properties of the lava samples from western Iceland * Yuhji YAMAMOTO, Hiroyuki HOSHI, Maxwell BROWN</p>

第 2 日 目

11月25日(月)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会 場
16 : 15	R006-04 Relationship Between Plasmapause Position and Solar Wind Electric Field Ey * Yuki Obana, Yusuke Ebihara, Atsuki Shinbori, Fuminori Tsuchiya, Atsushi Kumamoto, Yoshiya Kasahara, Ayako Matsuoka, Mariko Teramoto, Tomoaki Hori, Yoshizumi Miyoshi, Iku Shinohara		R007-04 A New Scheme of GS Equation- Based Analysis for Expanding Interplanetary Flux Ropes * Katsuhide Marubashi, Daikou Shiota, Yuki Kubo, Hiroshi Hasegawa, Munetoshi Tokumaru, Nada Al-Haddad	R004-06 Natural remanent magnetization of volcanic ash from the Ninna eruption of Kaimondake volcano * Nobutatsu Mochizuki, Kodai Hayashida, Aoi Uematsu
16 : 30	R006-05 Magnetic storms of a weakly magnetized planet based on global inner magnetospheric simulations * Kazuhiro Osada, Kanako Seki, Tomotsugu Yamakawa, Kazuhiro Yamamoto, Kunihiro Keika, Yusuke Ebihara, Takanobu Amano, Yoshizumi Miyoshi		R007-05 Development of the phased array antenna system for next generation solar wind observation system * YUSUKE KAGAO, Kazumasa Iwai, Ken'ichi Fujiki, Daichi Takehara, Haruto Watanabe	(16:30 – 16:45 休憩)
16 : 45	(16:45 – 17:00 休憩)		R007-06 Development of the Analog Receiver System for the Next-generation Solar Wind Observation System * Haruto Watanabe, Kazumasa Iwai, Ken'ichi Fujiki, Yusuke Kagao, Daichi Takehara	R004-07 Process of acquiring remanent magnetization in volcanic rock masses from Tokachi-dake volcano * Koji Fukuma, Keiji Shinoda
17 : 00	R006-06 Origins of chorus waves in the inner magnetosphere * Yoshizumi Miyoshi, Rui Chen, ChaeWoo Jun, Satoshi Kurita, Shoya Matsuda, Shinji Saito, Yuto Katoh, Kazushi Asamura, Mariko Teramoto, Kazuhiro Yamamoto, Sandeep Kumar, Shreedevi Porunakatu Radhakrishna, Yoichi Kazama, Shiangu Yu Wang, Tomoaki Hori, Iku Shinohara, Yoshiya Kasahara, Satoshi Kasahara, Shoichiro Yokota, Kunihiro Keika, Takefumi Mitani, Takeshi Takashima, Fuminori Tsuchiya, Atsushi Kumamoto, Atsuki Shinbori, Ayako Matsuoka		R007-07 Development of a digital multi- beamformer for a next-generation solar wind observation system * Daichi TAKEHARA, Kazumasa IWAI, Ken'ichi FUJIKI	R004-08 The detection of tsunami sediments caused by the 2024 Noto Peninsula Earthquake * Noriko Kawamura, Hiroki Minami

第 2 日 目

11月25日(月)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場	D 会 場
17 : 15	<p>R006-07 Construction of empirical wave power model of chorus waves based on the Arase observation</p> <p>* Satoshi Kurita, Yoshizumi Miyoshi, Yuto Katoh, Shinji Saito, Shoya Matsuda, Yoshiya Kasahara, Ayako Matsuoka, Tomoaki Hori, Mariko Teramoto, Kazuhiro Yamamoto, Iku Shinohara</p>		<p>R007-08 Relationship between the plasma upflow and the solar wind</p> <p>* Keita Morishima, Kazumasa Iwai, Ken'ichi Fujiki</p>	<p>R004-09 Effects of religious activities on magnetic properties of surface sediments in caldera lakes</p> <p>* Satria Bijaksana, Ulvienin Harlianti, Silvia Jannatul Fajar, Putu Billy Suryanata, Ni Komang Tri Suandayani, Khalil Ibrahim</p>
17 : 30	<p>R006-08 Analysis of space distribution and propagation properties of low frequency chorus observed by Arase</p> <p>* Yugo Tamamura, Ayako Matsuoka, Mariko Teramoto, Yoshiya Kasahara, Mitsunori Ozaki, Shoya Matsuda, Yoshizumi Miyoshi, Tomoaki Hori, Iku Shinohara, Fuminori Tsuchiya, Atsushi Kumamoto, Yasumasa Kasaba</p>		<p>R007-09 Solar wind modeling based on Alfvén waves and interchange reconnection</p> <p>* Munehito Shoda</p>	<p>R004-10 Remanence increases during storage for paleosol samples dried after hydrothermal heating</p> <p>* Masayuki Hyodo, Yusuke Seto, Balazs Bradak</p>
17 : 45	<p>R006-09 Evaluation of a direction finding method using NWC transmitter signals observed by the Arase</p> <p>* Taiyo Ushiyama, Yui Umezawa, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda, Mamoru Ota, Fuminori Tsuchiya, Atsushi Kumamoto, Ayako Matsuoka, Yoshizumi Miyoshi, Iku Shinohara</p>		<p>R007-10 Radio occultation observations of the solar corona by Akatsuki spacecraft from Cycle 24 to 25</p> <p>* Shota Chiba, Takeshi Imamura</p>	<p>R004-11 Scanning SQUID microscope: Development of post-processing software</p> <p>* Hirokuni Oda, Jun Kawai, Miki Kawabata, Naoto Fukuyo, Akihiro Tanimoto, Isao Yosano, Chisato Anai</p>
18 : 00	<p>R006-10 A statistical study on energy sources of mid-latitude lower hybrid waves observed by Arase</p> <p>* Kazuhiro Yamamoto, Yoshizumi Miyoshi, Atsuki Shinbori, Ayako Matsuoka, Mariko Teramoto, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda, Tomoaki Hori, Atsushi Kumamoto, Fuminori Tsuchiya, Iku Shinohara</p> <p style="text-align: center;">(18:15 終了)</p>		<p>R007-11 On cross-helicity dependence of fluid particle diffusion in shear Alfvénic turbulence</p> <p>* Yasuhiro Nariyuki</p> <p style="text-align: center;">(18:15 終了)</p>	<p>(18:00 終了)</p>

第 3 日 目

11月26日(火)

開始時間	A 会 場	C 会 場
	<p>S002 2024年5月巨大宇宙嵐における太陽地球系変動 Solar-Terrestrial Variations during the May 2024 Severe Space Storm</p> <p>コンペーナ： 津川 卓也 (情報通信研究機構) 三好 由純 (名大 ISEE) 岩井 一正 (名大 ISEE) 西岡 未知 (情報通信研究機構) 桂華 邦裕 (東京大学) 塩田 大幸 (情報通信研究機構)</p> <p>座長： 三好 由純 (名古屋大学)</p>	<p>R008 宇宙プラズマ科学 Space Plasma Science</p> <p>コンペーナ： 三宅 洋平 (神戸大学大学院システム情報学研究科) 天野 孝伸 (東京大学大学院理学系研究科) 諫山 翔伍 (九州大学総合理工学研究院) 成行 泰裕 (富山大学学術研究部教育学系) 梅田 隆行 (北海道大学情報基盤センター)</p> <p>座長： 三宅 洋平 (神戸大学) 梅田 隆行 (北大基盤センター)</p>
9:00	<p>S002-13 Space weather impact on meteorological satellites and their operations during May 10-13, 2024 * Tsutomu Nagatsuma, Andrew Monham, Elsayed Talaat, Jesse Andries</p>	<p>R008-01 On the flattop velocity distributions * Seiji Zenitani, Mitsuo Oka</p>
9:15	<p>S002-14 Four Layer Structure of LEO and Altitude Change of Space Objects in Severe Space Weather in May 2024 * Susumu Tamaoki, Satoshi Nozawa</p>	<p>R008-02 Relaxation of the Courant Condition and Reduction of Numerical Errors in the Explicit FDTD Method * Harune Sekido, Takayuki Umeda, Yoshizumi Miyoshi</p>
9:30	<p>S002-15 Status of JAXA Low Altitude Satellite and Radiation Environment in May 2024 Event * Yugo Kimoto, Kiyokazu Koga, Haruhisa Matsumoto</p>	<p>R008-03 Study of higher-degree integrators for double layers * Riku Ozaki, Takayuki Umeda</p>
9:45		<p>R008-04 Extension of gyrokinetic simulation for the dipole field configuration * Tomo-Hiko Watanabe, Keiji Fujita, Shinya Maeyama</p>
9:50	<p>S002-16 Social Impact by Extreme Space Weather Events during May 2024 * Mamoru Ishii</p>	
10:00		<p>R008-05 Visualizations of Regular Tetrahedral Dynamo Simulation * Akira Kageyama, Nobuaki Ohno</p>
10:10	<p>ディスカッション</p> <p style="text-align: center;">(10:15 - 10:30 休憩)</p>	<p style="text-align: center;">(10:15 - 10:30 休憩)</p>

第 3 日 目

11月26日(火)

開始時間	A 会 場	C 会 場
	座長： 津川 卓也 (情報通信研究機構)	座長： 天野 孝伸 (東大) 三宅 洋平 (神戸大学)
10 : 30	S002-17 Impact of a Large Solar Flare in May 2024 on the Positioning Accuracy of High-Precision GNSS * Satoshi Fujiwara, Motoyuki Hosoya, Masunori Kitada	R008-06 Nonlinear wave growth theory of chorus emissions with Kappa distribution electrons * Yoshiharu Omura, Danny Summers, Li Li
10 : 45		R008-07 Pitch angle diffusion coefficient of relativistic electrons using a matrix calculation in plasmas * Takeru Kondo, Mitsunori Ozaki, Satoshi Yagitani
10 : 50	S002-18 The impact of ionospheric disturbances due to solar activity on the user position accuracy by CLAS.	R008-08 Simulation study of the sideband structure of harmonic lower hybrid waves * Tsubasa Kotani, Mieko Toida, Toseo Moritaka, Satoshi Taguchi
11 : 00	* Ryosuke Saito, Susumu Saito, Natsuko Hayase, Kazutoshi Sato, Seigo Fujita, Masakazu Miya	
11 : 05	S002-19 Impact of intense ionospheric disturbances in 2023-2024 on aeronautical GNSS applications	R008-09 Linearly Polarized Electromagnetic Waves in Electron-Positron Plasmas * Masanori Iwamoto, Kunihito Ioka
11 : 15	* Susumu Saito, Takayuki Yoshihara, Toru Takahashi, Taisei Nozaki, Mamoru Yamamoto	
11 : 25	S002-20 Impact of ionospheric activity on air navigation integrity and accuracy in ADS-B	R008-10 Confirmation of the ECB-SMBH Concluded by Decameter Radio Pulse from Sgr A*
11 : 30	* Toru Takahashi, Anurak Pongpeaw, Susumu Saito, Tadashi Koga, Pornchai Supnithi, Jirapoom Budtho	* Hiroshi Oya
11 : 40	S002-21 A weather caster's thoughts on the merits and demerits of aurora reporting	総合討論
11 : 45	* Kimiharu Saita, Susumu Tamaoki, Saki Ishida	
	(12:00 終了)	(12:00 終了)

第 3 日 目

11月26日(火)

開始時間	
	特別講演 (2階大会議室) 司会 中村 卓司、野木 義史 (2024年秋季年会大会委員長)
13:20 - 14:05	「極域観測と統計家・統計数理研究所の連携 ― 過去と現在」 樫 広計 所長 (統計数理研究所)
	田中館賞受賞講演 (2階大会議室) 司会 塩川 和夫 (第32期会長)
14:10 - 14:55	「ロケット・衛星搭載用粒子観測装置の開発と地球磁気圏における波動粒子相互作用の研究」 浅村 和史 会員 (宇宙科学研究所)
15:00 - 15:45	「最大級の磁気嵐の成因に関する研究」 片岡 龍峰 会員 (国立極地研究所)
16:00 - 18:30	第156回総会 (2階大会議室)
18:45 - 20:45	懇親会 (極地観測棟1階倉庫)

第 4 日 目

11月27日(水)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場
	<p>R006 磁気圏 Magnetosphere コンビーナ： 寺本 万里子 (九州工業大学大学院工学研究院) 北村 成寿 (名古屋大学宇宙地球環境研究所) 松田 昇也 (金沢大学大学院自然科学研究科) 山本 和弘 (名古屋大学宇宙地球環境研究所) 西山 尚典 (国立極地研究所) 座長： 村瀬 清華 (極地研) 滑川 拓 (NICT) 西山 尚典 (極地研)</p>	<p>R010 宇宙天気・宇宙気候 ～観測、シミュレーション、その融合～ Space Weather/Space Climate コンビーナ： 塩田 大幸 (情報通信研究機構) 池田 昭大 (鹿児島工業高等専門学校) 渡邊 恭子 (防衛大学校) 高橋 直子 (情報通信研究機構) 座長： 渡邊 恭子 (防衛大)</p>	<p>R008 宇宙プラズマ科学 Space Plasma Science コンビーナ： 三宅 洋平 (神戸大学大学院システム情報学研究所) 天野 孝伸 (東京大学大学院理学系研究科) 諫山 翔伍 (九州大学総合理工学研究院) 成行 泰裕 (富山大学学術研究部教育学系) 梅田 隆行 (北海道大学情報基盤センター) 座長： 松本 洋介 (千葉大高等研究基幹) 天野 孝伸 (東大)</p>
9 : 00	<p>R006-11 Multi-instrument observations of polar rain aurora * Keisuke Hosokawa, Ryuho Kataoka, Daniel Whiter, Yasunobu Ogawa, Noora Partamies, Fred Sigernes, Takuo Tsuda, Satoshi Taguchi, Kazuo Shiokawa</p>	<p>R010-01 One-dimensional numerical simulation and empirical construction of Pseudostreamer * Kyogo Tokoro, Munehito Shoda, Shinsuke Imada</p>	<p>R008-11 Study of nonstationary collisionless shock using high-power laser experiment * Shuichi Matsukiyo, Shogo Isayama, Yuma Sato, Kana Takahashi, Taichi Morita, Taichi Takezaki, Ryo Yamazaki, Shuta Tanaka, Kentaro Sakai, Yasuhiro Kuramitsu, Kentaro Tomita, Takayoshi Sano, Youichi Sakawa</p>
9 : 15	<p>R006-12 Development of Hyperspectral Camera for Auroral Imaging (HySCAI) and first light results * Katsumi Ida, Mikirou Yoshinuma, Yusuke Ebihara</p>	<p>R010-02 Characteristics of sunspots that increase the interplanetary magnetic field * Minami Yoshida, Toshifumi Shimizu, Shin Toriumi, Haruhisa Iijima</p>	<p>R008-12 Dependence of the electron SSA efficiency on shock speeds in non-relativistic high Mach shocks * Kenya Nagai, Yosuke Matsumoto</p>
9 : 30	<p>R006-13 Magnetospheric source of auroral emission at subauroral latitudes using Arase and ground imagers * Masaki Gomi, Kazuo Shiokawa, Yoshizumi Miyoshi, Yuichi Otsuka, Shin ichiro Oyama, Atsuki Shinbori, Tomoaki Hori, ChaeWoo Jun, Kazuhiro Yamamoto, Iku Shinohara, Kazushi Asamura, Kunihiro Keika, Shoichiro Yokota, Fuminori Tsuchiya, Atsushi Kumamoto, Yoshiya Kasahara, Yoichi Kazama, Shiang-Yu Wang, Sunny W.Y. Tam, Ayako Matsuoka, Connors Martin</p>	<p>R010-03 Solar cycle and extreme space weather events in the Medieval Solar Activity Maximum * Hiroko Miyahara, Ryuho Kataoka, Kazuaki Yamamoto, Tokanai Fuyuki, Toru Moriya, Mirei Takeyama, Sakurai Hirohisa, Ohyama Motonari, Kazuho Horiuchi, Hideyuki Hotta</p>	<p>R008-13 Investigating wave generation mechanisms by shock-reflected electrons at quasi-perpendicular shocks * Ruolin Wang, Takanobu Amano</p>
9 : 45	<p>R006-14 Dependence of auroral morphology on the relative distance to the substorm onset location * Momoka Matsuoka, Shin ichiro Oyama, Keisuke Hosokawa, Yoshizumi Miyoshi, Yasunobu Ogawa, Satoshi Kurita</p>	<p>R010-04 SOLAR-C/Space weather * Shinsuke Imada</p>	<p>R008-14 Evaluation of Electron Heating Efficiency by Buneman Instability in Relativistic Shock Waves * Yuto Fukuda, Takanobu Amano</p>

第 4 日 目

11月27日(水)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場
10 : 00	R006-15 2D distribution of the low-energy electron precipitation from auroral images and its characteristics * Kazuki Yashima, Satoshi Taguchi, Haruto Koike, Keisuke Hosokawa		R008-15 Electron Heating in Relativistic Collisionless Shocks * Taiki Jikei, Takanobu Amano
10 : 05	(10:15 - 10:30 休憩)	総合討論 (10:15 - 10:30 休憩)	(10:15 - 10:30 休憩)
	座長： 今城 峻 (京大・地磁気センター) 村瀬 清華 (極地研) 山本 和弘 (名大ISEE)	座長： 北村 健太郎 (九州工大)	座長： 諫山 翔伍 (九大総理工) 松清 修一 (九大・総理工)
10 : 30	R006-16 Theoretical and numerical study of efficient electron acceleration process by kinetic Alfvén waves * Koseki Saito, Yuto Katoh, Yohei Kawazura, Atsushi Kumamoto	R010-05 Temporal change of high reconnection rate environment in the solar coronal magnetic field * Koji Kondoh	R008-16 Ion-driven and electron-driven waves in Earth's bow shock * Takanobu Amano
10 : 45	R006-17 The Formation of Low Plasma Density Region in IAR with Ponderomotive Force * Kousuke Kawakami, Akimasa Yoshikawa, Keiichiro Fukazawa, Hayato Higuchi	R010-06 Enhancement of an Explainable AI Model for SEP Event Prediction and Analysis of Decision Rationale * Naho Fujita, Yuta Kato, Kanya Kusano, Chihiro Mitsuda, Yasuhide Ishihara	R008-17 A preferential positron acceleration in relativistic magnetized electron-ion-positron shocks * Shori Arai, Yosuke Matsumoto
11 : 00	R006-18 The source altitude distribution and heating property of electron conics * Hiroki Ishimaru, Shun Imajo, Yoshizumi Miyoshi, Yoichi Kazama, Kazushi Asamura, Ayako Matsuoka, Shiang-Yu Wang, Sunny, W.Y. Tam, ChaeWoo Jun, Tomoaki Hori, Iku Shinohara, Fuminori Tsuchiya, Atsushi Kumamoto, Yoshiya Kasahara, Atsuki Shinbori, Mariko Teramoto, Kazuhiro Yamamoto	R010-07 Solar Wind Parameter Dependence of the Radiation Belt Electron Flux Variations using the XAI * Yuta Nishimiya, Yoshizumi Miyoshi, ChaeWoo Jun, Tomoaki Hori, Takefumi Mitani, Iku Shinohara, Takeshi Takashima, Nana Higashio, Kazushi Asamura, Shinji Saito, Daikou Shiota	R008-18 A study of fast magnetic reconnection models by multi-hierarchy simulation * Keita Akutagawa, Shinsuke Imada
11 : 15	R006-19 The correlation between the luminosity variation of PsA and energy spectra * Masaya Hirano, Keisuke Hosokawa, Yoshizumi Miyoshi, Kazushi Asamura, Marc Lessard, Matthew Mcharg, Allison Jaynes, Mykhaylo Shumko, Vincent Ledvina, Don Hampton, Takeshi Sakanoi, Takefumi Mitani, Taku Namekawa, Masahito Nose, Yasunobu Ogawa, Alexa Halford	R010-08 Analysis of the surface charging events and their plasma environment of the Van Allen probes * Masao Nakamura, Daichi Matsui	R008-19 Summary of MHD Linear Theory of Tearing Instability * Tohru Shimizu

第 4 日 目

11月27日(水)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場
11 : 30	R006-20 Investigation of Omega Band Auroras: Ground and Magnetospheric Conjugate Observations * Itsuki Naganawa, Yoshizumi Miyoshi, Satoshi Kurita, Keisuke Hosokawa, Shin ichiro Oyama, Yasunobu Ogawa, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda, Tomoaki Hori, Yoichi Kazama, Shiang-Yu Wang, ChaeWoo Jun, Satoshi Kasahara, Shoichiro Yokota, Kunihiro Keika, Ayako Matsuoka, Mariko Teramoto, Kazuhiro Yamamoto, Iku Shinohara	R010-09 Development of Radiation Monitors for Space Weather (RMS) on Geostationary Earth Orbit Satellite * Shinji Saito, Kaori Sakaguchi, Kenichi Otsuji, Taku Namekawa, Inchun Park, Naoko Takahashi, Kaisei Enoki, Tsutomu Nagatsuma, Hiroaki Miyake, Takefumi Mitani, Kazushi Asamura, Yuki Kubo, Takuya Tsugawa, Ryutarou Suzuki, Naoto Kadowaki	R008-20 Implementation of a machine leaning model into the relativistic MHD simulation code * Yosuke Matsumoto, Jin Matsumoto, Hiroyuki Takahashi
11 : 45	R006-21 Estimation of energy of precipitation electrons during magnetic storms * Koyo Takano, Keisuke Hosokawa, Shin ichiro Oyama, Yoshimasa Tanaka, Antti Kero, Yoshizumi Miyoshi, Yasunobu Ogawa, Mizuki Fukizawa, Satoshi Kurita		R008-21 Autonomous Kelvin-Helmholtz Vortex-Generating System in the Earth's Magnetosphere * DongSheng Cai
11 : 50	(12:00 - 13:15 昼休み) 座長： 滑川 拓 (NICT) 今城 峻 (京大・地磁気センター) 北村 成寿 (名大・宇地研)	総合討論 座長： 塩田 大幸 (情報通信研究機構) 高橋 直子 (NICT)	(12:00 終了)
13 : 15	R006-22 Development of a small-size and wide-FOV electron analyzer for CubeSat to measure auroral electrons * Shoki Yabumoto, Kazushi Asamura, Takefumi Mitani, Mariko Teramoto, Tomoya Iwase, Kentarou Kitamura, Kentarou Miyazato	R010-10 X-ray Investigation of non-thermal plasma in "X10,000,000-class" flare of the RS CVn binary star * Miki Kurihara, Wataru Iwakiri, Masahiro Tsujimoto, Ken Ebisawa, Shin Toriumi, Shinsuke Imada, Yohko Tsuboi, Kazuki Usui, Gendreau Keith, Arzoumanian Zaven	
13 : 30	R006-23 Newly development of an ion energy-mass spectrometer for observations of suprathermal ions * Kenya Terasawa, Kazushi Asamura, Akari Nagatani, Yoshizumi Miyoshi	R010-11 Reproduction of electron density in the lower ionosphere during solar flares using PHITS code * Shinnosuke Kitajima, Kyoko Watanabe, Hidekatsu Jin, Chihiro Tao, Satoshi Masuda, Michi Nishioka, Kiyoka Murase	

第 4 日 目

11月27日(水)

開始時間	A 会 場	B 会 場	C 会 場
13 : 45	R006-24 Investigation and development of FPGA coding for digital-type fluxgate magnetometer * Hayato Tanaka, Ayako Matsuoka	R010-12 Solar Hydrogen Lyman line emissions from solar flares and their effects on the Earth's ionosphere * Ryosuke Okubo, Kyoko Watanabe, Shinnosuke Kitajima, Satoshi Masuda, Akimasa Ieda, Hidekatsu Jin, Chihiro Tao, Michi Nishioka	
14 : 00	R006-25 Ion heating asymmetry between the tailward and earthward sides of lobe reconnection X-line * Haruto Koike, Satoshi Taguchi	R010-13 Development of Upper Atmospheric Assimilative Model using GAIA * Hidekatsu Jin, Satoshi Andoh, Chihiro Tao, Yasunobu Miyoshi, Hiroyuki Shinagawa, Hitoshi FUJIWARA	
14 : 15	R006-26 An Estimation of Magnetopause Reconnection Rate from Soft X-ray Imaging * Ryota Momose, Yosuke Matsumoto, Yoshizumi Miyoshi	R010-14 Development of all-sky camera network over Antarctica * Ryuho Kataoka, project auroraXcosmic	
14 : 30	R006-27 Statistical analysis of the characteristic magnetic structure in Mercury's nightside magnetosphere * Takuro Ogawa, Iku Shinohara, Go Murakami, Sae Aizawa	R010-15 Statistical analysis of electromagnetic field response during substorms on day and night sides * Moe Hayashi, Akimasa Yoshikawa, Shinichi Ohtani, Akiko Fujimoto	
14 : 45	R006-28 Duskward displacement of plasmoids and reconnection in the near-Earth magnetotail * Akimasa Ieda, Yukinaga Miyashita	R010-16 Diurnal and Seasonal Variations of Quiet-Time GICs in Japanese Power Transmission Systems * Shun Idei, Satoko Nakamura, Yoshizumi Miyoshi, Yusuke Ebihara, Shinichi Watari	
15 : 00	R006-29 Energy and pitch angle dispersed ion injections from the magnetotail during storms observed by Arase * Milla M H Kalliokoski, Lynn M Kistler, Yoshizumi Miyoshi, Kazushi Asamura, Iku Shinohara, Ayako Matsuoka, Shoichiro Yokota, Satoshi Kasahara, Kunihiro Keika, Tomoaki Hori, Mariko Teramoto, Kazuhiro Yamamoto (15:15 終了)	R010-17 Estimation of GIC using the global MHD simulation of the magnetosphere 7 * Shinichi Watari, Aoi Nakamizo, Yusuke Ebihara (15:15 終了)	

ポスター発表一覧表 (セッション番号順) 会場：総合研究棟(1F 交流アトリウム・3F 統数研セミナー室1(D305))

ポスター1
11月24日(日) 第1日目
(13:15-18:15)

[S002]

2024年5月巨大宇宙嵐における太陽地球系変動
Solar-Terrestrial Variations during the
May 2024 Severe Space Storm

- S002-P01 Interaction among multiple CMEs to result in May 2024 Superstorm
* Daikou Shiota, Seiji Yashiro, Kazumasa Iwai
- S002-P02 Interplanetary scintillation observation and predictability of coronal mass ejections in May 2024
* Kazumasa Iwai, Daikou Shiota, Kenichi Fujiki, Hirofumi Isogai
- S002-P03 Investigation of Earth's Magnetospheric Structure During Massive Solar Flare with MHD Simulations
* Keiichiro Fukazawa, Yuto Katoh, Yohei Miyake, Takeshi Nanri
- S002-P04 Particle acceleration upon the SSC of May 2024 storm
* Tomoaki Hori, Atsuki Shinbori, Yoshizumi Miyoshi, Kunihiro Keika, Satoshi Kasahara, Shoichiro Yokota, Shoya Matsuda, Yoshiya Kasahara, Ayako Matsuoka, Iku Shinohara
- S002-P05 EMIC waves during the May 2024 geomagnetic storm
* ChaeWoo Jun, Y. Miyoshi, T. Hori, K. Shiokawa, K.-H. Kim, J. Bortnik, L. Lyons, I. Shinohara, A. Matsuoka, Y. Kasahara, S. Matsuda, Y. Kasaba, M. Teramoto, K. Yamamoto

- S002-P06 Westward geomagnetic change accompanying a magnetic storm in May 2024
* Tsutomu OGAWA
- S002-P07 Ionospheric variations observed at Syowa Station, Antarctica during the May 2024 space weather event
* Chihiro Tao, Michi Nishioka, Takumi Kondo, Masato Nagahara, Hideo Maeno, Takuya Tsugawa
- S002-P08 Southern hemispheric aurora during the Mother's day storm
* Keisuke Hosokawa, Peter Jaquierey, Yuki Obana
- S002-P09 Characteristics of low-latitude red/green/blue auroras observed seven times in Japan in 2023-2024
* Kazuo Shiokawa, Yuichi Otsuka, Nozomu Nishitani, Sota Nanjo, Ryuho Kataoka
- S002-P10 TEC Enhancement and Irregularities Over Japan During a Magnetic Storm on May 2024
* Yuichi Otsuka, Kazuo Shiokawa, Atsuki Shinbori, Mamoru Yamamoto, Tatsuhiro Yokoyama, Koji Nishimura, Michi Nishioka, SEPTI PERWITASARI
- S002-P11 Evaluation of electron density variation using PHITS and GAIA models during solar flares in May 2024
* Shinnosuke Kitajima, Kyoko Watanabe, Hidekatsu Jin, Chihiro Tao, Satoshi Masuda, Michi Nishioka
- S002-P12 Oscillation in the D-region ionosphere during a X5.89 class solar flare
* Akane Kubota, Hiroyo Ohya, Fuminori Tsuchiya, Hiroyuki Nakata
- S002-P13 Frequency dependence of CNA due to various sources observed by spectral riometers
* Tomotaka Tanaka, Yasunobu Ogawa, Yoshimasa Tanaka, Akira Kadokura, Mizuki Fukizawa, Kiyoka Murase, Keisuke Hosokawa, Shin ichiro Oyama, Antti Kero

- S002-P14 Variations in the ozone concentration in the mesosphere at Syowa station associated with EPP
* Hikaru Suzuki, Fuminori Tsuchiya, Akira Mizuno, Isao Murata, Yasumasa Kasaba, Tomoo Nagahama, Hirohumi Goto
- S002-P15 XRISM in the Maximum of 25 Solar Cycle
* Kotaro Fukushima

[R006]

磁気圏
Magnetosphere

- R006-P01 Particle Energization during Dipolarization Substorm Events by Test Particle Simulations
* Kirolosse Girgis, Tohru Hada, Kaiti Wang, Fumiko Otsuka, Akimasa Yoshikawa
- R006-P02 Concurrence of the Dungey and interchange cycles during northward IMF periods
* Masakazu Watanabe, DongSheng Cai, Peikun Xiong, Shigeru Fujita, Takashi Tanaka
- R006-P03 Large-scale FAC pattern and SW-M-I coupling
* Aoi Nakamizo, Akimasa Yoshikawa, Hiroyuki Nakata, Keiichiro Fukazawa, Takashi Tanaka
- R006-P04 High speed flows in the subauroral ionosphere
* Radhakrishna Porunakatu, Yoshizumi Miyoshi, Yiqun Yu, Vania Jordanova
- R006-P05 Large-scale statistical analysis of the magneto-ionospheric current system from QZS-1 and MAGDAS
* Haruka Ura, Hideaki Kawano, Alexey Moiseev, Dmitry Baishev, Teiji Uozumi, Shuji Abe, Akimasa Yoshikawa
- R006-P06 Influence of precipitating electrons on three-dimensional distribution of field-aligned current
* Kotonon Kaneda, Yusuke Ebihara

R006-P07 On the electric field “mapping” between the magnetosphere and the ionosphere
* Yusuke Ebihara, Takashi Tanaka

R006-P08 Examination of density and temperature in the magnetosphere using the spacecraft potential of Arase
* Keiya Kawagata, Yasumasa Kasaba, Fuminori Tsuchiya, Yoichi Kazama, Koki Tachi, Tomoko Nakagawa, Atsuki Shinbori, Yuto Katoh

R006-P09 An Empirical Plasmopause Model using Arase/PWE Data and Machine Learning
* Yuto Asawa, Shoya Matsuda, Yoshiya Kasahara, Yoshizumi Miyoshi, Iku Shinohara

R006-P10 FLR frequency and the magnetospheric density estimated by applying the DTFT to the SuperDARN VLOS
* Hideaki Kawano, Akira Sessai Yukimatu, Nozomu Nishitani, Yoshimasa Tanaka, Tomoaki Hori

R006-P11 Test Particle Simulations of Ion Acceleration by BBELF waves at Ionospheric Altitudes
* Keigo Sakai, Yuto Katoh, Atsushi Kumamoto

R006-P12 Statistical survey of Ion 3D velocity distribution functions observed by the Arase satellite
* Takahito Shikimori, Iku Shinohara, Kazushi Asamura, Yoshizumi Miyoshi, Shoichiro Yokota, Satoshi Kasahara, Kunihiro Keika, Tomoaki Hori, Ayako Matsuoka, Mariko Teramoto, Kazuhiro Yamamoto

R006-P13 Variations of He⁺⁺ Ions in the inner magnetosphere at Different L-Shells: Arase LEP-i Observations
* Yui Nishida, Yoshizumi Miyoshi, Kazushi Asamura, Lynn Kistler, Iku Shinohara

R006-P14 Spatial distribution of low-energy (<1 keV) O⁺ plasma in the inner magnetosphere
* Masahito Nose, Kazushi Asamura, Yoshizumi Miyoshi, Ayako Matsuoka, Mariko Teramoto, Atsushi Kumamoto, Fuminori Tsuchiya, Yoshiya Kasahara, Atsuki Shinbori, Iku Shinohara

R006-P15 Variation of ring current ions during magnetic storms based on the GEMSIS M-I coupled model
* Tomotsugu Yamakawa, Kanako Seki, Yoshizumi Miyoshi, Aoi Nakamizo, Kazuhiro Yamamoto

R006-P16 Energy-spectral evolution of ring current ions of ionospheric origin during intense magnetic storms
* Kunihiro Keika, Kanako Seki, Satoshi Kasahara, Shoichiro Yokota, Yoshizumi Miyoshi, Tomoaki Hori, Iku Shinohara, Ayako Matsuoka

R006-P17 Does isotropic proton precipitation correspond to isotropic distribution of magnetospheric protons?
* Shun Imajo, Yoshizumi Miyoshi, Satoshi Kasahara, Shoichiro Yokota, Ayako Matsuoka, Kunihiro Keika, Tomoaki Hori, Iku Shinohara, Kazuo Shiokawa

R006-P18 Improvement in efficiency of auroral 3D analysis
* Yoshimasa Tanaka, Yasunobu Ogawa, Mizuki Fukizawa, Akira Kadokura, Keisuke Hosokawa, Takuo Tsuda

R006-P19 High-latitude dayside aurora and transpolar arcs observed during low Alfvén Mach number solar wind
* Masaki N. Nishino, Yukinaga Miyashita, Keisuke Hosokawa, Lei Cai, Hiroshi Hasegawa, Yoshifumi Saito

R006-P20 Investigation of the Plasma Environment Responsible for Spacecraft Surface Charging
* Hayato Masuno, Mariko Teramoto, Daichi Araki, Kentarou Kitamura, Teppei Okumura, Kiyokazu Koga, Hiroyuki Okamoto, Nobutaka Tanishima

R006-P21 Investigation of the relationship between satellite surface charging and chorus waves
* Daichi Araki, Mariko Teramoto, Hayato Masuno, Yoshiya Kasahara, Atsushi Kumamoto, Ayako Matsuoka, Shoya Matsuda, Tomoaki Hori, Atsuki Shinbori, Kazuhiro Yamamoto, Yoshizumi Miyoshi, Iku Shinohara, Teppei Okumura, Kiyokazu Koga, Hiroyuki Okamoto, Nobutaka Tanishima, Kentaro Kitamura, Fuminori Tsuchiya

R006-P22 Study of Auroral Fine Scale Structure Using High Spatio-Temporal Resolution Optical Observations
* Wandal Winn, Keisuke Hosokawa, Shin ichiro Oyama, Yoshizumi Miyoshi, Yasunobu Ogawa, Yoshimasa Tanaka

R006-P23 Over-darkening of diffuse/pulsating aurora: LAMP sounding rocket observation
* Taisei Noda, Yoshizumi Miyoshi, Keisuke Hosokawa, Kazushi Asamura, Takeshi Sakanoi, Lessard Marc, Jaynes Alison, Shumko Mike, Halford Alexa, Taku Namekawa, Takefumi Mitani, Masahito Nose, McHarg Geoff, Ledvina Vincent, Hampton Don

R006-P24 Statistical analysis of pulsating auroras and high-latitude propagation of chorus waves
* Yuri Ito, Yasunobu Ogawa, Yoshimasa Tanaka, Akira Kadokura, Mizuki Fukizawa, Keisuke Hosokawa, Yoshizumi Miyoshi, Tomoaki Hori, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda, Iku Shinohara

R006-P25 Statistical analysis of internal modulations in pulsating aurorae
* Kiyoka Murase, Takanori Nishiyama, Mizuki Fukizawa, Fujii Ryoichi

R006-P26 Statistical Survey of Dayside Energetic Electron Precipitation in the Inner Magnetosphere
* Rino Takahara, Iku Shinohara, Satoshi Kasahara, Kazushi Asamura, Shoichiro Yokota, Kunihiro Keika, Yoichi Kazama, Shiang Yu Wang, Sunny Wing-Yee Tam, ChaeWoo Jun, Tomoaki Hori, Ayako Matsuoka, Mariko Teramoto, Kazuhiro Yamamoto, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda, Atsushi Kumamoto, Atsuki Shinbori, Fuminori Tsuchiya, Yoshizumi Miyoshi

R006-P27 Observation of auroral emission altitude during relativistic electron precipitation events
* Kyutaro Yanagisawa, Ryuho Kataoka, Kanako Seki, Yoshizumi Miyoshi, Kazuo Shiokawa, Connors Martin, Satoshi NAKAHIRA, Shoji Torii

R006-P28 Repetition period of REP and chorus observed during the conjunction event of ISS/CALET and Arase

* Madoka Arai, Yuto Katoh, Ryuho Kataoka, Mariko Teramoto, Atsushi Kumamoto, Fuminori Tsuchiya, Yasumasa Kasaba, Yoshizumi Miyoshi, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda, Iku Shinohara, Kazuhiro Yamamoto, Ayako Matsuoka, Tomoaki Hori, Atsuki Shinbori, Shoji Torii, Yosui Akaike

R006-P29 Characteristics of MeV Electron Precipitation Spectra Observed by CALET/CHD

* Mariko Teramoto, Ryuho Kataoka, Yoshizumi Miyoshi, Shoji Torii, Yoshiya Kasahara, Ayako Matsuoka, Shoko Miyake, Satoshi NAKAHIRA, Shoya Matsuda, Mitsunori Ozaki, Kazuhiro Yamamoto, Iku Shinohara, Kentarou Kitamura

R006-P30 Automatic extraction of narrowband low-frequency waveforms observed by ARASE

* Masaya Miura, Taketoshi Miyake, Yoshiya Kasahara

R006-P31 Automatic Extraction of Characteristic Low-Frequency Waves observed by ARASE

* Soga Shishino, Taketoshi Miyake, Yoshiya Kasahara

R006-P32 Noon-midnight difference in latitudinal occurrence of chorus waves observed by Arase

* Yoichi Kazama, Yoshizumi Miyoshi, Yuto Katoh, Yasumasa Kasaba, Satoshi Kurita, Yoshiya Kasahara, Hirotsugu Kojima, Kunihiro Keika, Shoya Matsuda, ChaeWoo Jun, Tomoaki Hori, Bo-Jhou Wang, Shiang-Yu Wang, Sunny Tam, Kazushi Asamura, Ayako Matsuoka, Mariko Teramoto, Iku Shinohara

R006-P33 Chorus wave activity at marginal condition of electron temperature anisotropy instability

* Iku Shinohara, Jingxuan Yang, Yoichi Kazama, Shiang-Yu Wang, Sunny W. Y. Tam, ChaeWoo Jun, Satoshi Kasahara, Shoichiro Yokota, Kunihiro Keika, Kazuhiro Yamamoto, Tomoaki Hori, Kazushi Asamura, Yoshizumi Miyoshi, Takefumi Mitani, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda, Ayako Matsuoka, Mariko Teramoto

R006-P34 Frequency spectram of electrostatic waves driven by chorus waves observed by the Arase satellite

* Towa Yoshida, Satoshi Kurita, Hirotsugu Kojima, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda, Ayako Matsuoka, Yoshizumi Miyoshi, Tomoaki Hori, Mariko Teramoto, Kazuhiro Yamamoto, Iku Shinohara

R006-P35 Study of propagation characteristics of EMIC wave using multipoint observation by Arase and Cluster

* Shunsuke Miyashita, Yuto Katoh, Atsushi Kumamoto, Fuminori Tsuchiya, Yasumasa Kasaba, Yoshiya Kasahara, Shoya Matsuda, Ayako Matsuoka, Yoshizumi Miyoshi, Tomoaki Hori, Atsuki Shinbori, Santolik Ondrej

R006-P36 Spatial Distribution of Magnetosonic Waves Observed by the Arase Satellite

* Takashi Yamazaki, Shoya Matsuda, Yoshiya Kasahara, Yasumasa Kasaba, Atsushi Kumamoto, Fuminori Tsuchiya, Tomoaki Hori, Atsuki Shinbori, Yoshizumi Miyoshi, Iku Shinohara

R006-P37 Energetic electron dynamics caused by whistler-mode chorus in the Earth's inner magnetosphere

* Yikai Hsieh, Yoshiharu Omura

R006-P38 Accuracy evaluation of near-earth geomagnetic data measured by MGF on board the Arase Satellite

* Taiki Hisada, Mariko Teramoto, Ayako Matsuoka, Kazuhiro Yamamoto, Yoshizumi Miyoshi, Iku Shinohara, Kentarou Kitamura

R006-P39 Development of Magnetometer Calibration System Using a Small Vector and Scalar Magnetometer

* Emino Fukumoto, Mariko Teramoto, Teiji Uozumi, Kentaro Kitamura

R006-P40 Development of the miniaturized and low-power plasma wave receiver for use on CubeSat

* Kosuke Yamamoto, Takahiro Zushi, Hirotsugu Kojima

R006-P41 Geometry design of orbit deflection mechanisms for field-of-view sweeping in space plasma analyzers.

* Yuuki Kitamura, Shoichiro Yokota, Satoshi Kasahara, Kentarou Terada

R006-P42 Development of a Multifunctional ASIC for Plasma Particle Detectors on board Satellites

* Shimon Takahashi, Motoyuki Kikukawa, Kazushi Asamura, Takahiro Zushi, Satoshi Kurita, Shoichiro Yokota, Hirotsugu Kojima

R006-P43 Development of Radiation Monitor for Space weather measuring Electrons (RMS-e) for Himawari-10

* Taku Namekawa, Kaori Sakaguchi, Kenichi Otsuji, Inchun Park, Shinji Saito, Takefumi Mitani

R006-P44 Results of the auroral camera on the LAMP1 rocket and development of the LAMP2 rocket camera

* Takeshi Sakanoi, Kazushi Asamura, Yoshizumi Miyoshi, Keisuke Hosokawa, Taku Namekawa, Shin ichiro Oyama, Takanori Nishiyama, Mizuki Fukizawa, Satoshi Ishii, Jaynes N. Allison

R006-P45 Status of GEO-X mission

* Yuichiro Ezo, Ryu Funase, Harunori Nagata, Yoshizumi Miyoshi, Hiroshi Nakajima, Ikuyuki Mitsuishi, Masaki Numazawa, Yuki Satoh, Yosuke Kawabata, Ryota Fuse, Shintaro Nakajima, Ralf Boden, Landon Kamps, Yuki Nobuhara, Shota Hirai, Tomokage Yoneyama, Koichi Hagino, Yosuke Matsumoto, Keisuke Hosokawa, Satoshi Kasahara, Daiki Ishi, Junko Hiraga, Kazuhisa Mitsuda, Masaki Fujimoto, Munetaka Ueno, Atsushi Yamazaki, Hiroshi Hasegawa, Takefumi Mitani, Yasuhiro Kawakatsu, Takahiro Iwata

R006-P46 The observation of the Earth's plasmasphere in extreme ultraviolet from a nano-spacecraft

* Masaki Kuwabara, Kazuo Yoshioka, Go Murakami, Ichiro Yoshikawa

ポスター発表一覧表 (セッション番号順) 会場：総合研究棟(1F 交流アトリウム・3F 統数研セミナー室1(D305))

[R011]

データシステム科学
Data System Science

- R011-P01 Recent activity of the IUGONET project: Update of metadata, data analysis tools and systems
* Yoshimasa Tanaka, Shuji Abe, Atsuki Shinbori, Shun Imajo, Satoru UeNo, Masahito Nose, Chihiro Tao, Hidekatsu Jin
- R011-P02 Data distribution activities with library
* Shuji Abe, Takuya Ashikita, Yuko Hori, Akimasa Yoshikawa
- R011-P03 Processing and noise reduction of the prototype imaging data of the SuperDARN Hokkaido East radar.
* Shota Hayamizu, Nozomu Nishitani, Yoshiyuki Hamaguchi, Tomoaki Hori, Atsuki Shinbori
- R011-P04 Current status of data archive for Syowa – Iceland conjugate observations
* Akira Kadokura
- R011-P05 International Collaborations on Science-Data related Activities in the Asia-Oceania Aeria
* Takashi Watanabe, Masaki Kanao, Akira Kadokura, Yasuhiro Murayama, Toshihiko Iyemori
- R011-P06 A generation model of two dimensional aurora image based-on Conditional GAN
* Ryusei Furukawa, Akiko Fujimoto
- R011-P07 Image processing techniques for monitoring ionospheric environment: ionogram images
* Akiko Fujimoto, Hayato Nakamura, Yuki Goou, Ikumi Yoshino
- R011-P08 Multimodal Fusion for Spatiotemporal Predictive Learning of Ionospheric Total Electron Content
* Peng LIU, Tatsuhiro Yokoyama, Takuya Sori, Mamoru Yamamoto

- R011-P09 Automatic Detection of Field Line Resonances in Geomagnetic Data Using Deep Learning
* Yuki Obana, Akiko Fujimoto

ポスター2
11月25日(月) 第2日目
(9:00-12:00)

[R007]

太陽圏
Heliosphere

- R007-P01 Machine learning clustering of galactic cosmic ray trajectories in the heliosphere
* Kotaro Yoshida, Shuichi Matsukiyo, Fumiko Otsuka, Tohru Hada
- R007-P02 Periodic Solar Wind Structure Over Half A Century
* Kenichi Fujiki, Kazumasa Iwai, Keita Morishima
- R007-P03 Motion of the source region of the type-II solar radio burst in HF frequency range
* Naoto Kinno, Yuto Katoh, Atsushi Kumamoto, Kazumasa Iwai
- R007-P04 Development of a wideband feed system for the solar and planetary radio telescope in Tohoku Univ.
* Yoji Kuwayama, Hiroaki Misawa, Fuminori Tsuchiya, Hajime Kita, Hideki Ujihara
- R007-P05 Polytropic characteristics around the termination shock
* Ken Tsubouchi

[R008]

宇宙プラズマ科学
Space Plasma Science

- R008-P01 High-power laser experiment of collisionless shock generation using light gases
* Kana Takahashi, Shuichi Matsukiyo, Shogo Isayama, Kotaro Yoshida, Yumeng Fan, Kotaro Oshida, Gaku Nakayama, Yuma Sato, Rintaro Fujiyama, Ryo Kono, Taichi Morita, Ryo Yamazaki, Shuta Tanaka, Taichi Takezaki, Kentaro Tomita, Kentaro Sakai, Yasuhiro Kuramitsu, Takayoshi Sano, Youichi Sakawa
- R008-P02 Study of Collective Thomson Scattering using 2D full Particle-in-cell Simulation
* Yuma Sato, Shuichi Matsukiyo, Shogo Isayama
- R008-P03 Electron acceleration efficiency by magnetic surfing at non-relativistic shocks
* Fumiko Otsuka, Shuichi Matsukiyo, Mitsuo Oka
- R008-P04 Relativistic Resonant and Wakefield Acceleration Driven by Large Amplitude Alfvén Waves
* Shogo Isayama, Shuichi Matsukiyo, Takayoshi Sano
- R008-P05 Microstructure of magnetic island in collisionless reconnection
* yumeng fan, Shuichi Matsukiyo, Seiji Zenitani
- R008-P06 Reconstruction of MHD structures of magnetic reconnection using PINNs
* Hikaru Shimooka, Shuichi Matsukiyo, Shogo Isayama
- R008-P07 Parametric dependence of nonlinear wave growth of whistler-mode hiss emissions
* Zhenxing Yin, Yoshiharu Omura, Yikai Hsieh
- R008-P08 Two-dimensional evolution of synchrotron maser instability in relativistic electron-ion plasmas
* Shunsuke Baba, Shuichi Matsukiyo

- R008-P09 Performance evaluation of relativistic particle integrator for PIC
* Takayuki Umeda
- R008-P10 Suppressing Numerical Errors from Current Desities in Higher-Order FDTD Method
* Xinyu Ge, Harune Sekido, Takayuki Umeda, Yoshizumi Miyoshi
- R008-P11 Numerical calculation of plasma-neutral fluid interactions using PINNs
* Ryo Kono, Shuichi Matsukiyo, Shogo Isayama
- R008-P12 Towards the Application of Tensor Network Methods to Two-Fluid Models
* Yuudai Mizokami, Hayato Higuchi, Akimasa Yoshikawa
- R008-P13 Detection of dust impact-like signals by electric field instrument onboard the ARTEMIS satellites
* Kota Takaramoto, Satoshi Kurita, Hirotsugu Kojima
- R008-P14 Development of a Dynamical Simulator for Charged Regolith Particles on Airless Planetary Bodies
* Yohei Miyake, Shota Takahashi, Yamato Sakakibara, Jin Nakazono

[R010]

宇宙天気・宇宙気候
～観測、シミュレーション、その融合～
Space Weather/Space Climate

- R010-P01 Hinode observation of long-term variation of magnetic fields in the Sun's polar regions
* Daikou Shiota, Masahito Kubo, Yukio Katsukawa, Masumi Shimojo, Haruhisa Iijima, Takuma Matsumoto, Satoshi Masuda

- R010-P02 Multipoint spacecraft measurements of the ICME structure in October 2021
* Yumi Bamba, Takuya Hara, Ryuho Kataoka, Katsuhide Marubashi, Kazumasa Iwai, Tomoaki Hori, Daikou Shiota, Go Murakami, Beatriz Sanchez-Cano, Daniel Heyner, Ingo Richter, Hans-Ulrich Auster
- R010-P03 Solar Microwave Observations with the Yokosuka Radio Polarimeter (YoRP)
* Kyoko Watanabe, Masumi Shimojo, Kazumasa Iwai, Satoshi Masuda
- R010-P04 Current Status of the YOTSUBA-KULOVER Satellite for Precise Geomagnetic Observations
* Kentarou Kitamura, Hirokazu Masui, Shuji Abe, Teiji Uozumi, Mariko Teramoto, Akiko Fujimoto, Akimasa Yoshikawa, Meng Cho, Team YOSTUABA-KULOVER
- R010-P05 Forecast of CIR-driven geomagnetic storms using the deep neural networks
* Naoko Takahashi, Naoto Nishizuka
- R010-P06 Comparative study of magnetic field data and PC index in the boundary region of the auroral belt
* Koki Tateishi, Akimasa Yoshikawa
- R010-P07 Independent Component Analysis of Pi2 Pulsations to Explore the Substorm M-I Coupling System
* Taisuke Kochaku, Akimasa Yoshikawa, Teiji Uozumi
- R010-P08 Development of supports for handmade globe using 3D printer
* YUKINOBU KOYAMA

ポスター発表一覧表 (セッション番号順) 会場：総合研究棟(1F 交流アトリウム・3F 統数研セミナー室1(D305))

ポスター3
11月25日(月) 第2日目
(13:15-18:15)

[R005]
大気圏・電離圏
Atmosphere/Ionosphere

- R005-P01 Non-thermal escape of hydrogen atmosphere on early Earth by a 3D multispecies MHD simulation
* Yuri Kusano, Tomoki Kimura, Shotaro Sakai, Tatsuya Yoshida, Yuki Maeda, Eitaro Nakada, Ryoma Takada, Naoki Terada
- R005-P02 The impact of Arctic Sea ice loss on the middle atmosphere
* Shosuke Mori, Yasunobu Miyoshi
- R005-P03 Polar mesospheric cloud variations from 2015 to 2024 observed by Himawari-8/9
* Yosuke Moriyama, Takuo Tsuda, Yoshiaki Ando, Ken T. Murata
- R005-P04 A method for atmospheric temperature profile estimation by Himawari-8/AHI limb-sounding
* Takuo Tsuda, Yoshiaki Ando, Hiromu Nakagawa, Masaki Tsutsumi, Yuta Hozumi, Keisuke Hosokawa, Takeshi Murata
- R005-P05 Development of NLC Imager for observation in the high latitude region-The test observation in Kiruna
* Akiho Endo, Rina Kawakami, Ayune Masuda, Dalin Peter, Takuo Tsuda, Hidehiko Suzuki
- R005-P06 Variation of OH Airglow Intensity Associated with EPP in the Polar Mesopause Region
* Satoshi Ishii, Hidehiko Suzuki, Yoshimasa Tanaka, Makoto Taguchi, Masaki Tsutsumi, Mitsumu K Ejiri, Takanori Nishiyama, Akira Kadokura

- R005-P07 A New Approach to Measuring Wind Speed with Airglow Imaging of Atmospheric Gravity Waves
* Shin Suzuki, Kazuo Shiokawa
- R005-P08 Development of a the time-delayed multi-beam observation method applied to the Tromsø Na lidar
* Kota Sato, Takuo Tsuda, Sayaka Karigane, Takeshi Aoki, Norihito Saito, Satonori Nozawa, Tetsuya Kawabata, Takuya Kawahara, Toru Takahashi
- R005-P09 Ca/Ca+ resonance-scattering lidar for measuring dynamics in MLT region with a high resolution
* Ayaka Hashimoto, Sota Kobayashi, Sayako Miyoshi, Chiaki Ohae, Masayuki Katsuragawa, Mitsumu K. Ejiri, Takuji Nakamura
- R005-P10 High resolution wind observations based on network MF radar meteor echo measurements
* Masaki Tsutsumi, Toralf Renkwitz, Jorge L. Chau, Juha Vierinen
- R005-P11 ARTIFICIAL BARIUM CLOUDS MOTION AT THREE DIFFERENT ALTITUDES: RESULTS OF THE BROR EXPERIMENT
* Yoshihiro Yokoyama, Tima Sergienko, Urban Brändstöm
- R005-P12 Temporal variation of NO observed by a multi-frequency mm-wave spectrometer at Syowa Station
* Akira Mizuno, Hirofumi Goto, Tomoo Nagahama, Taku Nakajima, Ryuho Kataoka, Yoshimasa Tanaka, Mitsumu K Ejiri, Yoshihiro Tomikawa, Hikaru Suzuki, Fuminori Tsuchiya, Isao Murata, Yasumasa Kasaba
- R005-P13 N₂⁺ upflow measurement through 427.8-nm aurora by an FPI: Model calculation for measurement errors
* Taiki Kikuchi, Kazuo Shiokawa, Shin ichiro Oyama, Yasunobu Ogawa, Junichi Kurihara

- R005-P14 Spatio-temporal variations in non-propagating and poleward propagating pulsating auroras
* Mizuki Fukizawa, Yasunobu Ogawa, Yoshimasa Tanaka
- R005-P15 STARLINK satellites and upper atmospheric variations
* Mamoru Yamamoto, Takuya Sori
- R005-P16 The Low-Frequency Components of Broadband Electrostatic Noise
* Ban Taichi, Miyake Taketoshi, Kasahara Yoshiya
- R005-P17 Spatial-scale dependence of temporal variability in the mesoscale plasma flow
* Takahiro Kinoshita, Satoshi Taguchi, Haruto Koike
- R005-P18 Imaging Observation of Ionospheric Field Aligned Irregularities by the PANSY radar
* Daisuke Kagawa, Taishi Hashimoto, Koji Nishimura, Akinori Saito
- R005-P19 Strong disturbances in equatorward wind surges during the geomagnetic storm on 3-4 November 2021
* Jonna Wehmeyer, Yoshihiro Tomikawa, Takanori Nishiyama
- R005-P20 Study of the airglow responses to magnetic storms by mid-latitude ground and satellite observations
* Yuto Hotta, Kazuo Shiokawa, Yuichi Otsuka, Jia Yue
- R005-P21 Calculation of attenuation of the ordinary and extraordinary waves in the ionosphere
* Shota Abe, Hiroyuki Nakata, Keisuke Hosokawa, Hiroyo Ohya
- R005-P22 Improvement of Tomography and the Launch of Near-Real-Time Services
* Taisei Nozaki, Susumu Saito, Mamoru Yamamoto

R005-P23 Development of SEALION Equatorial Plasma Bubble Alert and Data Portal
* SEPTI PERWITASARI, Michi Nishioka, Kornyanat Hozumi

R005-P24 An investigation into Plasma Bubble events on CEJ occurrence days in South America
* Akihiro Kato, Akimasa Yoshikawa, Akiko Fujimoto

R005-P25 An analysis of EEJ meridional currents from ground magnetic data using PCA
* Xzann Topacio, Akimasa Yoshikawa

R005-P26 Analysis of Ionospheric Disturbances Associated with Typhoon Using HFD Observations and Softbank TEC
* Rikuto Enomoto, Hiroyuki Nakata, Keisuke Hosokawa, Hiroyo Ohya

R005-P27 HF Doppler Observation System with FMCW Ranging: System Design and preliminary observations
* Noriko Namiki, Keisuke Hosokawa, Kenro Nozaki, Hiroyuki Nakata, Jun Sakai, Ichiro Tomizawa, Toyoshi Arisawa

R005-P28 Ionogram adjustment obtained by NICT's ionosonde observation
* Michi Nishioka, Takuya Tsugawa

R005-P29 Horizontal structures and movements of sporadic E layers observed with ionosonde receiver networks
* Yuki Kojo, Akinori Saito, Michi Nishioka, Hideo Maeno, Takumi Kondo

R005-P30 Observation of Es height variation using range measurement function of HFD system
* Kenro Nozaki, Noriko Namiki, Hiroyuki Nakata, Keisuke Hosokawa

R005-P31 Observations of sporadic E using marine traffic radio waves
* Keisuke Hosokawa, Nanako Mayumi, Atsushi Yamamoto, Susumu Saito, Jun Sakai, Toru Takahashi, Ichiro Tomizawa, Hiroyuki Nakata, Akinori Saito, Manabu Shinohara, Michi Nishioka, Takuya Tsugawa, Mamoru Ishii

R005-P32 Statistical Analysis of the Local-time Dependence of the Coupling between MSTID and Es-layer
* Kazui Watanabe, Yuichi Otsuka, Atsuki Shinbori, Takuya Sori, Veera Kumar Maheswaran, Michi Nishioka, SEPTI PERWITASARI

R005-P33 prediction of sporadic E layer by machine learning
* Yuki Uneyama, Tatsuhiro Yokoyama, Peng LIU

R005-P34 Measurements of the neutral and ionized atmospheres around Es by a sounding rocket: RIDE campaign
* Akinori Saito, Takumi Abe, Ayako Matsuoka, Keigo Ishisaka, Yoshifumi Saito, Maasto Tagawa, Atsushi Kumamoto, Kumiko Yokota, Hirotsugu Kojima, Satoshi Kurita, Naofumi Murata, Susumu Saito, Toru Takahashi, Michi Nishioka, Keisuke Hosokawa, Hiroyuki Nakata, Tatsuhiro Yokoyama, Huixin Liu, Satoshi Andoh, Masaru Kogure, Takanori Nishiyama, Takatoshi Sakazaki, Mitsumu K Ejiri

R005-P35 Estimation of Wake Effects in Observations Using a Langmuir Probe on a Sounding Rocket
* Yosuke Ueda, Takumi Abe, Akinori Saito

R005-P36 On performance evaluation of ion drift velocity analyzer
* Chiaki Kato, Takumi Abe, Satoshi Kurita, Hirotsugu Kojima

R005-P37 Development of a Neutral Mass Spectrometer NMS for RIDE Rocket Campaign
* Masahiro Yoneda, Akinori Saito, Yoshifumi Saito, Oya Kawashima, Satoshi Kasahara, Shoichiro Yokota

R005-P38 Analog circuit chip dedicated to the Fundamental Mode Orthogonal Fluxgate Magnetometers
* Kan Higashimura, Naofumi Murata, Ayako Matsuoka, Satoshi Kurita, Hirotsugu Kojima

R005-P39 Wideband impedance probe for measurements of LHR in the ionosphere - Lessons Learned in SS-520-3
* Atsushi Kumamoto, Hirotsugu Kojima, Keigo Ishisaka, Takahiro Zushi, Satoshi Kurita, Yuto Katoh, Takumi Abe, Yoshifumi Saito

R005-P40 structure and dynamics of the large-scale sporadic E layers
* Lihui Qiu, Huixin Liu

R005-P41 The role of metal ion transport in the sporadic E layer occurrence in the Summer Southern Hemisphere
* Satoshi Andoh, Akinori Saito, Hiroyuki Shinagawa

R005-P42 Effects of doubling CO2 concentration on Sporadic E around Japan region based on GAIA
* Farhan Naufal Rifqi, Huixin Liu, Lihui Qiu, Chihiro Tao

R005-P43 Improved Fit of Atomic Oxygen Ion-Neutral Collision Cross Section at Ionospheric Temperatures
* Akimasa Ieda

ポスター4
11月26日(火) 第3日目
(9:00-12:00)

[S001]

気球観測の最前線

—現在と将来の気球観測は何かができるのか—
The frontiers of balloon-borne observation

S001-P01 Development of a small tethered balloon system for NLC observation.

* Rina Kawakami, Taku Takada, Keisuke Kato, Hiromu Ikigame, Yuta Suzuki, Akiho Endo, Lihito Yoshida, Yoshihiro Tomikawa, Takuo Tsuda, Satoshi Ishii, Hidehiko Suzuki

[R003]

地球・惑星内部電磁気学
(電気伝導度、地殻活動電磁気学)
Solid Earth Electromagnetism

R003-P01 Magnetic field variations in Tonga due to Hunga Tonga-Hunga Ha'apai volcanic activities in Jan 2022

* Hisayoshi Shimizu

R003-P02 Experimental study of the self-potential measurement on water surface at a natural spring site

* Mao Ozawa, Kazuhiro Amita

R003-P03 Study of Tide-Induced Electromagnetic Field Response in the Kikai Caldera Sea Area

* Yu Shibata, Tatsuya Nonoyama, Nobukazu Seama, Takuto Minami, Takumi Obata, Tetsuo Matsuno, Hiroko Sugioka, Hironori Otsuka, Tomoko Hanyu, Yojiro Yamamoto, Haruhisa Nakamiti

R003-P04 4D inversion method using structural coupling

* Ryoosuke Ito, Mitsuru Utsugi

R003-P05 Analysis of Long-Period MT Data using LEMI recording equipment in the Kii Peninsula

* Akira Watanabe, Makoto Uyeshima, Yasuo Ogawa, Masahiro Ichiki, Satoru Yamaguchi, Yoshiya Usui, Hideki Murakami, Tsutomu OGAWA, Naoto Oshiman, Ryokei Yoshimura, Koki Aizawa, Ichiro Shiozaki, Takafumi Kasaya

R003-P06 AMT exploration of Zao Volcano, NE Japan

* Masahiro Ichiki, Wataru Kanda, Masashi Ushioda, Kaori Seki, Satoshi Miura, Mare Yamamoto, Yuichi Morita, Makoto Uyeshima

[R004]

地磁気・古地磁気・岩石磁気
Geomagnetism/Paleomagnetism/
Rock Magnetism

R004-P01 Effects of symmetric-antisymmetric interaction on the planetary magnetic fields

* Futoshi Takahashi

R004-P02 Influence of Skin Effect on Mercury's Magnetic Field: A Dynamo Simulation Approach

* Yuto Yagi, Hiroaki Toh, Futoshi Takahashi

R004-P03 Long-term geodynamo cycle revealed from relationship between reversal frequency and dipole strength

* Yutaka Yoshimura, Toshitsugu Yamazaki

R004-P04 Miocene relative paleointensity of deep-sea sediments at IODP Site U1490

* Norihiro Nakamura, Yuho Kumagai, Toshitsugu Yamazaki

R004-P05 Paleomagnetic field variation during the transitional geomagnetic field from lava sequence

* Ryuichiro Hidaka, Nobutatsu Mochizuki, Chie Kato, Tesfaye Kidane, Ameha Muluneh, Naoto Ishikawa

R004-P06 Rock magnetism of lava flows in eastern Iceland

* Yuto Koremura, Yuhji Yamamoto, Hiroyuki Hoshi, Chie Kato, Jowita Kumek, Elisa Piispa

R004-P07 Paleointensity and rock magnetic analyses of lavas on Nishinoshima, Ogasawara Islands

* Isao Yosano, Yuhji Yamamoto, Noriko Tada, Fukashi Maeno, Minoru Takeo

R004-P08 Revising Mesozoic magnetic anomaly lineations in the northwestern Pacific Ocean using updated data

* Juri Uda, Masao Nakanishi, William W Sager

R004-P09 Paleomagnetic analyses on the Lutzow-Holm Complex at Skalevikshalsen, East Antarctica

* Naoto Ishikawa, Kei-ichiro Koukami

R004-P10 The magnetic anomaly lineation in the West Philippine Basin

* Soya Ito, Masao Nakanishi

R004-P11 Dating Marine Sediment Cores Using Paleomagnetic Intensity Variability

* Ryunosuke Isoda, Yoichi Usui

R004-P12 Reconstruction of thermal history of heated artifacts by paleomagnetic and rock magnetic methods

* Tadahiro Hatakeyama, Yorinao Shitaoka

R004-P13 Fundamental research on the magnetic properties of sediments from the Thu Bon River in Vietnam

* Yu Kitahara, Ayako Funabiki, Sumiko Kubo, Van Tho Nguyen, Yuhji Yamamoto, Chisato Anai, Tadahiro Hatakeyama, Mariko Yamagata

[R009]

惑星圏・小天体
Planets and Small Bodies

- R009-P01 Daytime monitoring of Mercury's sodium exosphere with Haleakala T60-AO
* Masato Kagitani, Yasumasa Kasaba
- R009-P02 Performance of the Engineering Model of TRITON for LUPEX
* Yoshifumi Saito, Masahiro Yoneda, Oya Kawashima, Shoichiro Yokota, Naoaki Saito, Satoshi Kasahara, Kazushi Asamura, Masaki N Nishino
- R009-P03 A search for magnetic reconnection signatures on lunar crustal magnetic fields
* Kohei Ogino, Yuki Harada, Masaki N Nishino, Yoshifumi Saito, Shoichiro Yokota, Futoshi Takahashi, Hisayoshi Shimizu
- R009-P04 Mass analysis of low-energy ions originating from the lunar surface and exosphere
* Kei Masunaga, Yuki Harada, Shoichiro Yokota, Naoki Terada, Shotaro Sakai, Kunihiko Keika, Ayako Matsuoka, Yoshifumi Saito, Daiba Kato
- R009-P05 Optical Performance Evaluation of Hydrogen Imager onboard the Comet Interceptor Mission
* Yusei Mitoh, Kazuo Yoshioka, Ashita Yamazaki, Yudai Suzuki
- R009-P06 Engineering model of the ion mass spectrometer for the Comet Interceptor mission
* Satoshi Kasahara, Ryo Tao, Oya Kawashima, Soichiro Seki, Yuki Sato, Shoichiro Yokota, Kazushi Asamura, Yoshifumi Saito

- R009-P07 Examination of the Method to Estimate the Magnetometer Sensor Alignment on Comet Interceptor
* Yoshiharu Kurematsu, Ayako Matsuoka, Naofumi Murata, Yuki Harada, Satoshi Kasahara, Yasutaka Satoh, Yasuyuki Miyazaki, Hirohide Shiratori, Shintaro Nakajima, Satoshi Ikari, Funase Ryu
- R009-P08 Photoelectron extent estimated from spacecraft potential at electric-field waveform distortion
* Tomoko Nakagawa, Tsubasa Konno, Hodaka Ito, Kouhei Mano, Tomoaki Hori, Yasumasa Kasaba, Yoshizumi Miyoshi, Shoya Matsuda, Yoshiya Kasahara, Iku Shinohara
- R009-P09 Plasma parameters at Europa's orbit estimated from the Hisaki observation
* Natsuko Matsushita, Fuminori Tsuchiya, Yasumasa Kasaba, Kazuo Yoshioka, Shinnosuke Satoh, Shotaro Sakai, Saniya Sanada, Atsushi Yamazaki, Go Murakami, Tomoki Kimura, Hajime Kita, Ichiro Yoshikawa
- R009-P10 Observation of Sodium emissions in Jovian moons
* Ryu Hasegawa, Hideo Sagawa, Jun Kimura, Seiko Takagi, Hikaru Kubota
- R009-P11 A Multi-Fluid MHD Simulation for Europa's Ionosphere
* Shinnosuke Satoh, Ryoya Sakata, Fuminori Tsuchiya, Shotaro Sakai, Naoki Terada, Yasumasa Kasaba, Natsuko Matsushita, Kanako Seki, Hiroyuki Shinagawa
- R009-P12 Crystal Structure of NaCl on Europa's Surface Based on Plasma Irradiation Experiments
* Kobayashi Ayumi, Kimura Tomoki, Hoshino Ryo, Otuki Misako, Okumoto Miyu, Sadgrove Mark, Nakauchi Yusuke, Tsuchiya Fuminori, Tan Shuya, Kimura Jun
- R009-P13 Comparison of Titan's atmospheric escape processes by Saturn and Solar winds
* Ryoma Takada, Tomoki Kimura, Shotaro Sakai, Yuki Maeda, Eitaro Nakada, Yuri Kusano, Naoki Terada

- R009-P14 Time variations in the atmosphere of Titan caused by its orbital motion
* Mizuho NAKAJIMA, Seiko Takagi, Kirara Arima, Mitsuteru SATO, Yukihiko Takahashi
- R009-P15 Elastic scattering of keV electrons by water molecules around Enceladus: A test particle simulation
* Hiroyasu Tadokoro, Yuto Katoh
- R009-P16 Development of Analytical Model Generalized for Exoplanetary Auroral Radio Emission
* Satyagraha Asa, Tomoki Kimura, Yuka Fujii, Ryusei Morino
- R009-P17 Long-term variable nature of Jupiter's auroral radio emissions - II
* Hiroaki Misawa, Fuminori Tsuchiya
- R009-P18 Magnetic field experiment by JUICE J-MAG and sensor alignment evaluation at the lunar-Earth flyby
* Ayako Matsuoka, Michele Dougherty, Patrick Brown, Hans-Ulrich Auster
- R009-P19 Test observations of natural lights by the mid-IR heterodyne spectrometer with the fiber coupler
* Hajime Ohata, Hiromu Nakagawa, Yasumasa Kasaba, Isao Murata, Takashi Katagiri, Yuji Matsuura, Yasuhiro Hirahara, Atsushi Yamazaki
- R009-P20 Development of Multilayer Mirrors Using Metak Alloys
* Yoshikawa Ichiro, Masaki Kuwabara, Kazuo Yoshioka, Go Murakami, Yudai Suzuki
- R009-P21 LOPYUTA mission: instrument overview and technical developments
* Go Murakami, Fuminori Tsuchiya, Masato Kagitani, Atsushi Yamazaki, Kazuo Yoshioka, Tomoki Kimura, Masaki Kuwabara, Shingo Kameda

R009-P22 Calibration test of an ion energy mass spectrum analyzer onboard the MMX spacecraft
 * Shoichiro Yokota, Yuki Kitamura, Yoshifumi Saito, Kazushi Asamura, Satoshi Kasahara

R009-P23 Exploring Magnetic Reconnection at Mars With MAVEN
 * Yuki Harada, Thomas E. Cravens, David A. Brain, Jasper S. Halekas

R009-P24 Enhancement of hydrogen escape from the early Martian atmosphere by the precipitation of SEPs
 * Yuki Nakamura, Kanako Seki, Tatsuya Yoshida, Naoki Terada, Shungo Koyama, Shotaro Sakai

R009-P25 Abiotic synthesis of peptides driven by the SEP in early Martian and terrestrial atmospheres
 * Yuki Sakurai, Tomoki Kimura, Hidetaka Torigoe, Kensei Kobayashi, Nobuaki Okumura, Kosuke Fukui, Nanaka Kogi, Yayoi Yoshimura, Naoki Terada

R009-P26 Analysis of Non-Migrating Tides in Lower-Middle Atmosphere during Global Dust Storms using Mars GCM
 * Noritsugu Nagata, Huixin Liu, Scot Rafkin, Victoria Hartwick, Hiromu Nakagawa

R009-P27 The current state of DRAMATIC MGCM: Towards the multi-scale modeling and data assimilation
 * Takeshi Kuroda, Arihiro Kamada, Mirai Kobayashi, Norihiko Sugimoto

R009-P28 Arsia Mons Elongated Cloud
 * Chengze Hou, Takeshi Imamura, Koichiro Sugiyama, Scot Rafkin

R009-P29 Synoptic-scale vortices in the lower cloud layer reproduced by AFES-Venus GCM
 * Masataka Imai, Masahiro Takagi, Hiroki Ando

R009-P30 Long-term variations of temperature and H₂SO₄ gas mixing ratio in the Venusian atmosphere
 * Hiroki Ando, Katsuyuki Noguchi, Takeshi Imamura, Hideo Sagawa, Janusz Oschlisniok, Silvia Tellmann, Martin Pätzold

R009-P31 Image restoration experiment for infrared images of Venus
 * Zhuan Guo, Takeshi Imamura

総合電磁気計測テクノロジー

磁力計

フラックスゲート
プロトン
オーバーハウザー
ポタシウム
インダクション

火山

衛星携帯データ転送
太陽電池システム
無線LAN

磁気試験

磁気モーメント計測システム
磁気シールド

海洋

海底電位磁力計(OBEM)
海底電磁探査装置
曳航式オーバーハウザー

宇宙

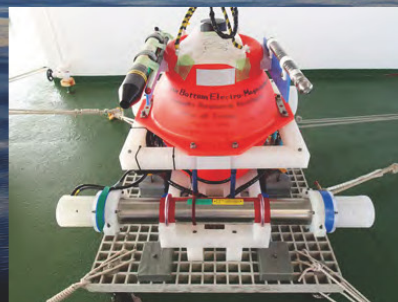
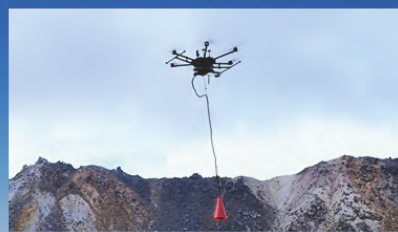
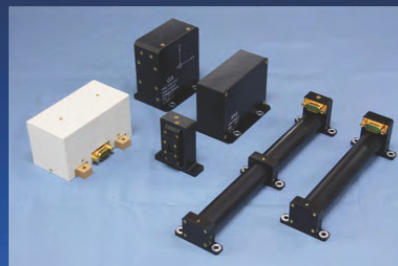
磁気トルカー
小型衛星地磁気姿勢計
太陽センサ

航空

航空機用ポタシウム
AUV用フラックスゲート
ポタシウム磁力計搭載ドローン

地下電磁探査

TDEM測定器
比抵抗測定器
全磁力サーベイ



有限会社テラテクニカ

〒208-0022 東京都武蔵村山市榎 3-25-1
TEL:042-516-9762 FAX:042-516-9763
カナダGEM Systems社 日本代理店

<http://www.tierra.co.jp/>

この星に、たしかな未来を

— OUR TECHNOLOGIES, YOUR TOMORROW —

私たち三菱重工は、次の世代の暮らしと、そこにある幸福を想い、人々に感動を与えるような技術と、ものづくりへの情熱によって、たしかな未来を提供していくことを目指します。そのために私たちは、これまで培ってきた技術を磨くとともに、新たな発想で様々な技術を融合させるなど、さらなる価値提供を追求し、地球的な視野で人類の課題の解決と夢の実現に取り組みます。



三菱重工業株式会社 www.mhi.co.jp

〒108-8215 東京都港区港南2-16-5

Tel 03-6716-3111

 **三菱重工**

この星に、たしかな未来を

Metoree

FUJITSU

未来はいつも、
誰かの想いからはじまる。

世界に、未来への確信を届けたい。
社会課題を解決する「Fujitsu Uvance」から。

Fujitsu Uvanceの取り組みについてはコチラ



Fujitsu
Uvance

革新的衛星技術実証2号機搭載 高機能CubeSat用OBC

～最先端のCOTSで安価・高性能・信頼性を実現し、心臓部といえるOBCの開発に成功～

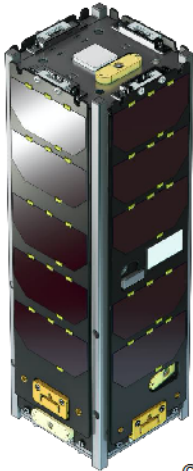
▶ベトナム国家宇宙センター（VNSC）との共同研究の下、「NanoDragon（ナノドラゴン）」という、3Uサイズのキューブサットに弊社の民生部品を活用した安価で高性能なオンボードコンピュータ（OBC）を軌道上実証を実施。

▶民生品を活用し、コストと信頼性のバランスのよい、ユーザの要求に柔軟に対応可能なCubeSat用オンボードコンピュータ（OBC）を開発

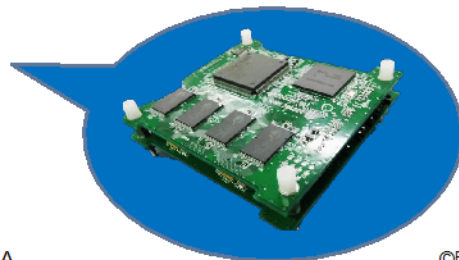
▶キューブサットや超小型衛星に関する国際協力事業を行う上でのモデルケースとしての確立を目指す

▶革新的衛星技術実証2号機/イプシロンロケット5号機にて打ち上げ

▶COTS(Commercial Off-The-Shelf 民生品)を活用したCubeSat用OBCで処理能力は160MIPSを実現



©JAXA



©明星電気

高機能CubeSat用OBC 諸元表

項目	性能
サイズ	96 mm × 90 mm × 21 mm (基板表面部品含む)
質量	110 g Typ.

日本の宇宙開発草創期から参画し、現在までに約3,000個もの観測機器を宇宙に送り出しています。

明星電気は、独自の技術、Sensing & Communication — 「計る技術」と「伝える技術」をコア技術に、国内外の宇宙開発に貢献しています。

宇宙防衛事業部 営業部 東京都江東区豊洲三丁目1番1号 TEL: 03-6204-8252 MAIL: aerospace@meisei.co.jp <https://www.meisei.co.jp/> 採用情報 随時更新中

あなたの研究を表現できる AI 英文校正・翻訳ツール

Paperpal
By researcher.life

Web版
Wordアドイン版
無料

≈ Synonyms
were fixed by
were determined by 86.53%
were selected by 8.64%

Rephrase
The first study was compared using
were composed by u

Japanese → English
statistically 顕著な ...
statistically significant...



350万稿以上の実際の学術論文校正データを学習させた、人間の校正者に極めて近いAIを搭載。

Paperpalは、世界192カ国、国内でNo.1*の利用者を誇るエディテージが20年間に渡って蓄積した、プロ校正者による学術論文の英文校正データを学習させたAIを搭載。プロ校正者の英文チェックに極めて近い、正確で文脈に合った英語表現の提案をリアルタイムで得ることができます。

*東京商工リサーチ調べ(2022年5月)

editage

Paperpalの機能

アカデミアと学術出版の分野で
125ヶ国の研究者
が利用する校正・翻訳ツール

学問や研究活動に携わる
100,000人の著者
が論文執筆に利用

実際に研究者によって書かれた
350万稿以上
の論文データを学習させたAI



🔍 Paperpal

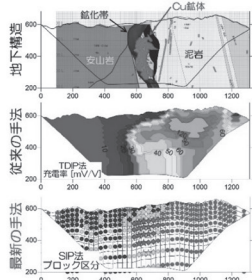
<https://paperpal.com/ja>

運営元 カクタス・コミュニケーションズ株式会社



MT法 現場から解析まで長年のノウハウ
MT法電磁探査は、自然の電磁場信号を用いて行う比抵抗探査手法です。他の比抵抗探査手法よりも探査深度が深く、地下数十kmまで探査が可能です。このため、地殻構造調査や地熱構造調査に多くの実績があります。また、測定周波数の高いAMT (Audio Frequency MT) 法探査を用いることにより、地下1km程度までの詳細な探査も可能で、トンネル掘削前の土木地質調査や断層調査への実績があります。測定システムは可搬性に優れ、騒音振動はありません。

SIP法



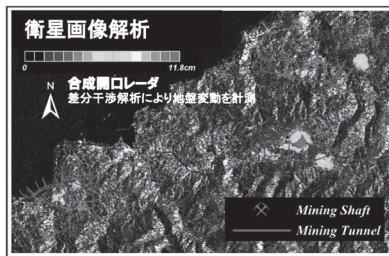
SIP法は、地下の周波数特性を調べる電気探査手法です。通常のTDIP法よりノイズ耐性が高く、得られるパラメータも多いことから、次世代の電気探査法として注目を集めています。含有物に依存する周波数特性を測定することで、今まで以上に詳細に岩種を区別することが可能になります。



ジオレーダ

斜面の動きをミリ波で検知

ジオレーダはミリ波あるいはマイクロ波帯の電波を照射し、火山や地滑り斜面、鉱山切羽などで反射した成分を受信します。受信記録に差分干渉解析を適用することで、観測ターゲットの微小変位を常時モニタリングすることができます。レーダアンテナは水平及び垂直方向に回転する機構を備えていますので、面的なデータ集録が可能となります。



衛星画像解析

合成開口レーダ
差分干渉解析により地盤変動を計測

Mining Shaft
Mining Tunnel

人工衛星に搭載された光学センサーやレーダセンサーは、数m程度の高い空間分解能で、数十～数百km四方の広範囲の地表情報を記録し、画像化します。リモートセンシングでは、衛星画像を解析することにより、地球上のあらゆる地域の情報を遠隔的に収集することが可能で、人工衛星が周期的に地球を周回しますので、地表状況の定常監視に応用できます。



空中電磁探査 効率的に高密度な比抵抗分布

空中物理探査は、固定翼機やヘリコプターを用いて行う物理探査手法です。空中から調査を行うため、地表からアクセスが困難な地区の情報を容易に得ることができ、1日に数百kmにおよぶデータを取得することが可能です。測定項目には、磁場強度、重力、放射能強度および電磁場強度があり、お客様のニーズに合わせた測定項目をご提案いたします。

日鉄鉱コンサルタント株式会社

ホームページ: <http://www.nmconsults.co.jp/>
E-mail: geophy@nmconsults.co.jp (物理探査部)
東京都港区芝4-2-3 NMF芝ビル 3F Tel:03-6414-2766 Fax:03-6414-2772

学会からのお知らせ



Earth, Planets and Space

Open Access for the Geosciences Impact Factor (2023) : 3.0

特集号の受付

EPS では、特集号の提案を随時受け付けております。研究プロジェクトの最新の成果の発表の場としてご活用ください。

- ✓ Quantitative Assessment and Modeling of Volcanic Activity 投稿締め切り：31 March 2025
- ✓ Evolution and Movement of the Crustal Surface and Application of Geo- and Thermochronology 投稿締め切り：31 August 2024
- ✓ The 2024 M7.6 Noto Peninsula earthquake and seismic swarm 投稿締め切り：30 September 2024

APC:\$1283.93 (会員価格)

※投稿時・受理時に所定の手続きが必要です。

賛助会員の募集

SGEPSS の事業は、賛助会員の皆様のサポートを受けております。賛助会員の皆様には、以下の広告サービスを行っておりますので、入会についてご検討ください。

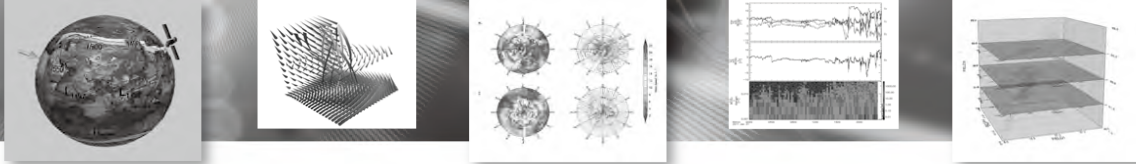
- ✓ [学会 Web トップページ](#)でのロゴマーク掲載
- ✓ [賛助会員様一覧ページ](#)への情報掲載
- ✓ 定期刊行の会報における広告記事掲載



IDL

Discover What's In Your Data.

電磁圏・プラズマ研究分野でのスタンダードソフトウェア



IDL は、コロラド大学大気宇宙物理学研究所出身の Dr. David Stern により、より効率的にデータ処理から可視化までを、クロスプラットフォーム OS 上で実行出来るように研究者視点から開発されております。

現在、地球電磁気・地球惑星圏学会の皆様は IDL を あらせ衛星データ処理、TDASや SuperDARN データ処理などで多くご利用されていると思います。

最新の IDL では対話形式だけではなく、開発環境やプログラミング自体も大幅に改良され、表示やフォントも綺麗で使いやすくなっております。

【最新版 IDL 無償評価版お問合せください】

NV5 GEOSPATIAL

NV5 Geospatial株式会社

■ 本社/東京オフィス

〒113-0033 東京都文京区本郷1-20-3 中山ビル3F
TEL : 03-6801-6147 / FAX : 03-6801-6148

■ 大阪オフィス

〒550-0001 大阪市西区土佐堀1-1-23 コウダイ肥後橋ビル5F
TEL : 06-6441-0019 / FAX : 06-6441-0020

URL > <https://www.nv5geospatialsoftware.co.jp> MAIL > sales_jp@NV5.com



link.springer.com

Springer eBook 地球科学・天文学関連コンテンツ

研究にも、教育にも最適なイーブック・コレクション

- 分野別、出版年別にパッケージ化した買い切り商品
- 広範な領域を網羅
- 利用価値の高いレファレンスや、ブックシリーズ、テキスト、モノグラフを含む幅広いコレクション
- 一冊まるごと、章ごとでもダウンロード可能
- 同時アクセス無制限、プリントアウト可能で教材にも最適。学生の教材費を軽減。
- 時、場所、デバイスを選ばず利用でき、移動の多い多忙な研究者に最適

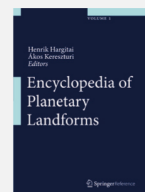
分野	累計出版点数	2017年予定出版点数
地球科学・環境科学	5,700点	390点
物理学・天文学	10,000点	430点

ご所属の機関で使えるeBookをご存じですか？

利用可能コンテンツ、タイトルリスト、お見積りなどご希望の方はお問合せください。

シュプリングァー・ネイチャー インスティテューショナル・マーケティング

• Tel: 03-4533-8091 • Fax: 03-4533-8081 • Email: jpmarket@springernature.com



springer.com

Part of **SPRINGER NATURE**

研究論文に特化した英文校正で論文の英語を磨き上げ、国際誌への投稿をサポート。

エナゴの選ばれる理由

1. **2段階チェック**
「分野の専門家」と「英語の専門家」
2名によるチェック。
2. **専門分野の合致**
各分野で**博士・修士号**を取得した
専門家が校正。
3. **査読対応込みの再校正**
投稿後の修正と加筆に**何度でも再校正**を行う「査読対応オプション」。

1単語あたり5.5円～。2名体制の校正料金では業界最安値レベル。

分野の専門家最大5名による日英・英日翻訳で、研究成果の世界への発信をサポート。

クリエイターの選ばれる理由

1. **分野に合致した翻訳者**
1117の専門分野の中から、原稿の内容と最も合致する翻訳者を選びます。
2. **博士・修士による翻訳**
平均**10.4年**の学術論文翻訳の経験を有するスペシャリストです。
3. **回数無制限の修正保証**
何度でも翻訳の手直しを行う「あんしん保証」(日英翻訳レベル3)。

学会会員様限定割引コード **GKJP108AD** 有効期限：2025年3月31日
見積りフォームのスペシャルコード欄へのご入力で新規割引 **20%OFF**
(英文校正サービスの割引上限額：2,500円)

研究支援エナゴ:

論文翻訳・学術翻訳クリエイター:



www.enago.jp

www.ulatus.jp



メールには24時間対応

request@enago.com

request@ulatus.com



電話受付:月-金10:00~19:00

03-4580-9713

平日10:00~20:00 土13:00~21:00 日10:30~19:30

03-4580-9713

株式会社 NTシステムデザイン

地球物理学・地震火山研究向け
測定器開発・製造・販売

オモロイ研究をしている人と
オモロイ仕事をしたい!



www.nt-sys.jp

facebook.com/ntsysd



MT観測用 電場観測装置
ELOG-DUAL

賛助会員リスト

下記の企業は、本学会の賛助会員として、
地球電磁気学および地球惑星圏科学の発展に貢献されています。

(有) テラテクニカ (2 口)	http://www.tierra.co.jp/
三菱重工 (株) 防衛・宇宙セグメント (2 口)	http://www.mhi.co.jp/
産業用製品メーカー・代理店比較の Metoree (ZAZA 株式会社)	https://metoree.com/
富士通 (株)	http://jp.fujitsu.com/
明星電気 (株) 宇宙防衛事業部	http://www.meisei.co.jp/
カクタス・コミュニケーションズ (株)	https://www.editage.jp/
日鉄鉱コンサルタント (株)	http://www.nmconsults.co.jp/
NV5 Geospatial 株式会社	https://www.nv5geospatialsoftware.co.jp/
シュプリンガー・ジャパン (株)	http://www.springer.com/
研究支援エナゴ	https://www.enago.jp/
株式会社 NT システムデザイン	http://www.nt-sys.jp/

地球電磁気・地球惑星圏学会 (SGEPSS) 2024 年秋季年会プログラム

発行日：2024 年 11 月 15 日発行

発行者：地球電磁気・地球惑星圏学会 <https://www.sgepss.org/>

事務局：〒650-0034 神戸市中央区京町 83 番地 三宮センチュリービル 3 階
(株) プロアクティブ内 地球電磁気・地球惑星圏学会事務局

TEL: 078-332-3703 FAX: 078-332-2506 E-mail: sgepss@pac.ne.jp